

備陽記

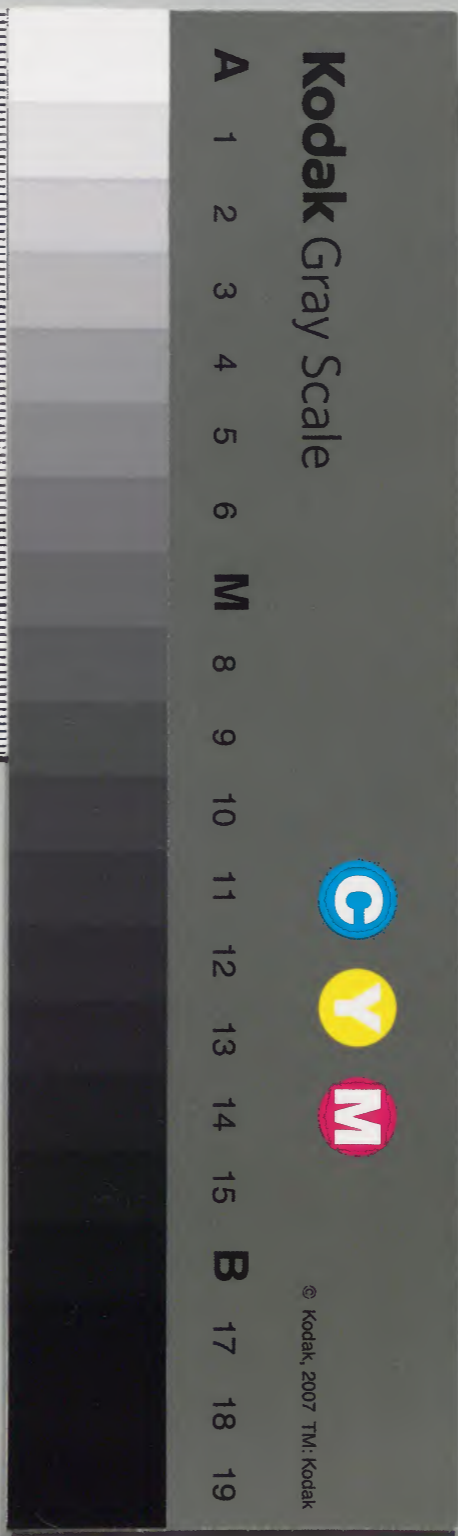
三

和書門類	二九三二一號
二八函	二二八
二架	二〇
冊	

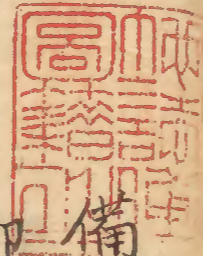
内閣文庫	和書
二九三二一號	二〇冊
二八函	一〇架
二七五函	

内閣文庫	
番號	和 29311
冊數	20 (17)
函號	175 161

地七〇

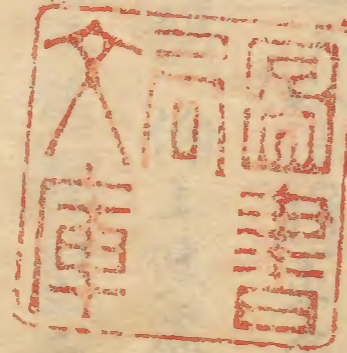


綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



備陽記追加  
御祭禮聞傳記

卷第三十二



此本森川慶休書集ノラル、ト云ハ氏  
倫陽之東照宮之奉故写之入也

丙 一一〇一二號



御祭禮聞傳大概  
東照宮御勸請之末由ハ寛永廿未八年朔日刑大僧正天海  
慈眼大師開山ノ以將軍家大猷院殿達ニ御内聽城郭之鎮守  
可奉祝由被仰上候處御縁起之文 翌年六月朔日僧正ヨリ  
御返答有之候哉翌二日酒丹讚岐守殿口御法名 御越被遊  
此度御誕生付御逗留被成候処冥加ニ御叶候由被仰其御  
序ニ 權現様國元ニ御勸請之事冥加之為ニ奉存僧正口  
御申候之処ニ早速 御門跡毗沙門堂御門跡ニ海僧御物語被  
成候由昨日被仰聞候達 上聞候事ニ而茂無之由御尊之趣被仰  
候得ハ讚岐守殿御返答左様思召候事御尤候旨玄貴殿

御祭禮聞傳大概

東照宮御勸請之末由ハ寛永廿未八年朔日刑大僧正天海

慈眼大師開山ノ以將軍家大猷院殿達ニ御内聽城郭之鎮守

可奉祝由被仰上候處御縁起之文 翌年六月朔日僧正ヨリ

御返答有之候哉翌二日酒丹讚岐守殿口御法名 御越被遊

此度御誕生付御逗留被成候処冥加ニ御叶候由被仰其御

序ニ 權現様國元ニ御勸請之事冥加之為ニ奉存僧正口

御申候之処ニ早速 御門跡毗沙門堂御門跡ニ海僧御物語被

成候由昨日被仰聞候達 上聞候事ニ而茂無之由御尊之趣被仰

候得ハ讚岐守殿御返答左様思召候事御尤候旨玄貴殿

被成御最下御申候ハ、國々不殘御勸請候此イカニモ輕ク可然  
候御差圖ニハ無之由被仰候御願相調候月日右之外不  
承傳候備前因幡安藝三々國同年ニ御勸請上承候御勸  
請相濟正保二酉ノ三月六日御參勤之御禮被仰上候節  
上意ニ新太郎儀余人ト違候条權現様信仰存候  
不叶儀ト被思召候國元勸請仕候旨最之段上意有之  
様ニ承傳候

御宮御造營之諸奉行正保元申ノ七月九日被仰渡候

- 一大奉行 池田出羽守 一惣奉行万ノ湯淺右馬允 那須半兵衛

一作事方諸手見モク口ニ右馬允半兵衛ニ相加リ差圖可仕事

一御宮差圖合材木積大坂江申遣候事 大工三郎右衛門

一大坂江材木調參直段ヲ相究調申事 羽原六大夫

大坂御留主居 柳与治右衛門 木屋惣十郎

一犬嶋石之裁判 熊谷源太兵衛 下奉行 戶田又之進 町大工一人

一源太兵衛申付割石奉行 御徒 矢牧平兵衛 黒田兵右衛門

一役人物手江渡ス事 嶮江權右門

一石舟之奉行船頭ヲ相定二人 東原半九衛門 近藤次郎九門

一岡山ニテ石ヲ請取石垣築比 横井与一兵衛 大島七郎九門

一 カンギ具外疊石氏

右兩人

一 地形奉行 道奉

九毛七兵衛 松崎平兵衛

御作事方

一 八幡之宮建替 玉井宮ノ一

堀弥太之進 佐分利強右門

一 御本社瑞竹離共

坂本孫右門 松原助左門

一 御幣殿御拜殿共

安宅次郎右門 中村徳左門

一 護摩堂護广道具氏

門田喜大夫 松田七兵衛

御本地堂ノ一 御本尊藥師如來

一 御供堂 御供所ノ事假殿

矢部源左門 鈴田夫兵衛

一 鳥升 二王門 隨身門之事

村田弥兵衛 後藤文右門

一 柵 凡七兵衛 松崎平兵衛

一 繪書彩色 野間八郎右門

一 塗師道具請取惣手、渡奉行横目 小堀次郎右門

一 飾屋道具請取惣手、渡奉行横目 稻川九郎右門

一 作事方普請氏横目三人 御徒横目 古川傳右門 松村八右門 堀權之進

一 石方 熊谷源兵衛手 水野六郎右門 村上治兵衛

一 鍛冶方 右同断 矢收平兵衛 黒田兵右門

一 綱奉行 岡部文大夫 阿部若右門

已上 是迄ハ湯淺又右王門所持書付有之

一 御宮之材木竹請取込諸手、可相渡奉行 高木長左門

一 神前之御道具調人但本須勘在門江戸云云調殘之分 坂井七郎右衛門

一 材木小屋可入木瓶井山半田山云切遣候奉行芳賀内藏允小頭 丹羽与一右衛門

一 權現之御宮守社僧之寺御普請奉行 堀 弥太之進

一 社僧之寺當分假屋ノ様御建以後御普請可被 仰付申上伏分利弥右衛門

一 繪圖迄出来出羽殿御請込被成候一氏相延申其後右之假屋

一 御建添唯今之寺成申候由承傳候

一 愛宕坊之寺脇退建候被遣普請奉行 右西人

一 唯今之利光院寺在之所愛宕之社社坊氏在之由承傳

諸勘定差上相濟申書附湯浅亦右衛門所持候ヲ写

正保元年 御本社作事拂 松原助左衛門 坂本孫右衛門

一 拜殿幣殿作事拂 右同人

一 護摩堂作事拂 門田喜大夫 松田七兵衛

一 假屋殿御供所作事拂 矢部源右衛門 鈴田夫兵衛

一 二王門惣門鳥井作事拂 村田彌兵衛 後藤文右衛門

一 社僧寺王之宮作事拂 愛宕寺氏 堀 弥太之進 佐分利弥右衛門

一 井垣柵拂 松野孫平 丸七七兵衛

一 石垣拂 横井与一兵衛 一 彩色拂 野間即右衛門

一 饒金物拂 稻川九郎右衛門 一 塗物拂 馬場次郎兵衛

一 同

一 同

一 同

一 同

一同 御宮材木拂

高木長左衛門

坂井七郎右衛門

一同 石切鍛冶拂

村上治兵衛

黒田兵右衛門

一同 大島三石切同所小屋掛拂

水野六郎左衛門

天牧平兵衛

一同 綱芋拂

岡部武大夫

阿部五右衛門

正保二年 將衣束假小屋拂

澤田善右衛門

大工三郎右衛門

一同 權現様御登道中入目拂

鈴木長大夫

藤井子次兵衛

一同 常照院山門衆伏見 岡山迄船中賄拂 中野八郎右衛門

藤井子次兵衛

一同 同迎之時牛窓ニ而賄拂

日置若狭守

一同 同岡山ニ而賄拂

神戸佐右衛門

竹内又五郎

右諸奉行午前遂算用悉相濟者也

正保三年六月九日

御黒印

湯浅右馬允より

那須半兵衛より

同年十二月十七日 御宮作事出来候ニ付奉行氏ニ御祝儀御小袖

御道服皮袴被下出羽 御刀被下候由

一 御造営之比者木鳥井御額ハ

東照大權現

天台座主普蓮院尊純法親王御筆

正保二年五月十七日

其後石ノ鳥居成御額、延寶四丙十一月十三日改

東照宮 梶井盛胤法親王御筆

正保二乙酉十二月三日以勅使宮號賜 所謂宮號 伊勢八幡東照宮限三社

一御宮御棟札之字ノ略

奉造立東照大權現御社一字

御願主左近衛權少將源朝光政

正保二乙酉曆二月十七日

御導師毗沙門堂御門跡權僧正公海為御代

東叡山常照院法印憲海永テ發向

御大工 木原水工允藤原朝臣義久

横山三郎右衛門藤原正次

石燈籠三十九基之銘

御本社前二基

松平備後守恒元

正保二乙酉仲春十有七奠

拜殿前岸岐石ヨリ下隨身門之内

九

池田出羽守由成 三基 池田伊賀守長明 三基

池田下總守長泰 二基 土倉淡路守一成 二基

瀧川出雲守辰政 一基 伊木九郎太郎幸雄 一基



宮城筑後守正定 一 伊木頼母助正利 一

番和泉守氏明 一 香西采女正吉延 一

梶浦大隅守定正 一 伊庭主膳正長利 一

真田次郎兵衛幸忠 一

右

伊木長門守忠貞 三基 池田信濃守政信 二基

池田佐渡守真長 二基 日置若狭守忠治 二基

池田美作守信成 一基 土肥飛彈守利政 一

池田數馬助忠義 一 土倉隼人正忠次 一

芳賀内藏允重時 一 八田求馬正信次 一

山脇修理亮重次 一 稻葉刑部少氏義 一

布施兵庫頭照高 一

一 權現様御勸請御神躰為御迎申ノ極月朔日江戸發足

池田佐渡守 御鉄砲頭 荒尾内藏助 熊谷源太兵衛

日置若狭守殿牛窓迄御迎御出候由

上野御門跡為御名代常照院憲海法印道中御供其外前

ヨリ出家衆十人被忝候由

一 正保元年九月十七日於 東叡山毗沙門堂御門跡公海僧正

尊神ヲ開眼供養被為遊翌年正月十九日 尊神ヲ金澤

奉移常照院憲海僧侶教多召具最御迎忝侍中教筆

奉警固江戸御發樂伏見ヨリ御船大坂ニテハ日光凡ト申新造

之御迎船奉移二月八日備州岡山御著岸御船ヨリ直ニ

御山假殿江奉移一説ニ花鳥御殿江御揚リ申候ヘテ直ニ御假殿江御入之由

同十六日ノ夜御遷宮有之御規式嚴重之御事翌十七日ヨリ十九日

至三日之御法會御執行尤ニ記之

一説唯今利光院ノ寺ヨリ御本社へ御遷宮行列段ニ在之候ヘテ

委細不承傳利光院ヨリ隨身門迄之内御家中侍中不殘罷

出白洲跪祇候仕侍中之後ニ貴賤群集但女中計白昼

御遷宮之ニ承傳候ヘテ前説ニ玄海法印ノ説故體ニ存候南

部祖父次郎右衛門常々物語仕候ハ右御遷宮之行列ニ御大刀

其時分之大小性頭丹羽藏人御脇指ノ寺社奉行那須半兵衛自

身持御鎧箱ハ南部次郎右衛門大小性役ニテ負申御假屋ヨリ

御本社迄叅候由右三人ハ素袍袴著申其外歷々役人相勤

候由承應之初迄者御祭禮之繪見申候之處御

太刀持二人ハ御鎧箱荷候者ハ素袍袴著仕居申候御

鎧箱持ハ白丁ニ而御太刀持兩人ハ至于今素袍袴著仕候

一正保二酉二月十六日御遷宮出仕之僧以上貳拾人内十人山門之衆徒

右之外導師壹人東叡山 常照院

於御本社 十七日四箇法用執行 出仕之僧右同前

御當日故近國之天台宗銘金山遍照院ヲ初并社司以下其外貴

賤男女參詣夥數群集有之由 於御本堂十八日御本地藥師  
如未開眼同堂供養、付曼荼羅供執行 出仕之僧二十三人  
右之外導師右同斷

於御拜殿 十九日 論義執行出仕之僧以上九人但山門之衆徒計

論題 教觀勝劣 以上

於權現堂千部之御讀經有之由兼傳候分若 御遷宮之

節御執行候哉、ト玄海法印、相尋候之處、兼應二己年

大猷院殿御三面忌之御法事、千部有之御遷宮之時分ニ、

無之由上道郡築地山之僧衆被出管弦有之御祭禮之時分ニ

被相勤候由兼候 此段ニ玄海法印、相尋候、成程右之通

兼傳候由被申其後築地山ニ致登山候刻院至明祥院

真水法印、相尋候、御遷宮之刻、不及申其比、御祭禮

之節ニ能出相勤候由先年者御船手澁紙寺方江掛、仕出

申、右之御用相勤候、有築地山ニ澁紙掛、申儀御赦免

于今申傳候其後 權現様御崇敬、分江戸へ御願上

方ヨリ 樂人辻伯耆東儀修理六辻將監三人毎年御祭礼

之刻罷下リ明曆二申九月十七日之御祭禮ヨリ於御宮初而

音樂有之候辻伯耆ハ一兩度下リ世悴丸衛門後号 罷下

相勤候由其刻當地之神職一之宮神職 大守肥後守 大守利丸衛門

酒折之神職 武田内記世悴 武田太郎左衛門 鏡石之神職 八木九工門世悴 八木孫、郎

右三人被召出上方樂人之弟子被仰付其後段、御國之神職  
世悴氏樂人被仰付于今相勤申候而曹源寺様御代延宝  
年中ノ比ヨリ上方樂人ハ罷下リ不申候御旅坂ヨリ御殿  
迄音樂有之儀ハ寛文七未ノ九月ヨリ初リ候之様ニ覺申候例年渡御  
之刻ハ大平樂還御之刻ニ還城樂其外ハ時之調子之樂ニ而四月ハ  
黄鐘ニ越九月ハ平調之内ノ樂ト兼及候

一御勸請相濟候為御祝儀於御花畠御能有之御家中侍中町人  
氏迄拜見被仰付候由兼及候ハ氏慥ニ覺候者無御座候其比中須賀  
河原ニテ勸進能モ在之由兼候是以御勸請之御祝候哉不慥  
大夫者觀世又ハ郎ト兼傳候御扶持人大夫

一東照宮御氏子定内山下御評定場ヨリ西ノ御丸マテ但ニ北側計  
東中山下市原加右衛門ヨリ古田權大夫迄西中山下中村至馬ヨリ

丹波守様衆室市兵衛迄但東側計鷹匠町内匠頭様衆坂井傳吉ヨリ丹羽次夫迄

但東側計 町方拾貳町 小橋町 東中島町 西中島町

橋本町 川崎町 中之町 磨屋町 野殿町 高砂町

油町 片瀬町 下内田町 至于今右之町々御祭礼相濟

候テ札配申候 右十貳町ヨリ御宮奉納御祭礼為御初穂前日鳥目十二貫文

一右御宮守假御建立之寺院之称号 御門跡公海僧正ヨリ被下

号 東岳山松客寺 利光院寺領高三百石并御宮坊守戴人御  
掃除之者五人給扶持凡九十四俵御奇附每年御祭禮料銀

十枚宛被下則常照肉縁之甥江海法印ヲ以別當被仰付二代  
目久海法印隱居号唯稱院三代當住玄海法印

一御城内下馬御橋詰ヨリ御宮下馬札迄南御門通拾九町四拾間

東御門通拾八町拾三間中水ノ手御渡リ御船着ヨリ拾五町

三拾間御後園東御門ヨリ拾二丁四拾三間下馬札ヨリ利光院門

前迄二十九間門前ヨリ惣門マテ七十六間惣門ヨリ隨身門三十一間

隨身門ヨリ御拜殿迄三十一間合二町三十七間

一御祭禮渡御之御道法三十五町四十一間還御之御道内六

御八十四丁九間御固所六ヶ所御門但京橋共一ヶ所伊勢宮口

御門拾ハヶ所御家中ヨリ固五ヶ所御足輕三番

右御固所段々増減有之當時右之通候コゝ迄カ

一美應二己二月十六日ヨリ十五日之内大猷院殿三回御忌之

御法事於權現堂千部御經御執行備前備中兩國之大台宗僧

數二百二十六人出勤之由築地山僧衆音樂被奏旨美傳候是ハ

御法事付委細不記候一尺大御法事故租書入申候

一貞享三寅同四卯同五辰御結願日寅二月十七日卯正月十七日辰二月十日

常憲院様四十二御厄為御祈禱於東照宮護摩堂百座之

護摩御執行被遊結願之日大般若經轉讀有之組頭以上護

摩堂御假屋相詰最御祈禱之物奉行假判形火之廻其外

諸奉行數多被仰付候一尺御祭禮而無之故略之三ヶ年

日教七日宛

一 正徳五未ノ四月十七日

東照宮百回御忌御法事御執行三十一日ヨリ十七日千部御  
經真讀有之惣奉行伊木將監肝煎池田吉九衛門假判形今井文左  
衛門御門固上島彦次郎次木九大夫外御門固土方衛兵衛梶田半兵衛  
火之廻リ中村右平次稻川伏七郎大横目三人町奉行寺社奉行御取次之  
醫師二人其外諸奉行數多被仰付相勤候一氏略之御老中  
御番頭御近習中物頭中寄合中迄二替仕 御本社假屋相

詰一日兩度御菓子被下十七日於台崇寺御料理被下最貴賤  
男女心次第參詣群集夥數候此節御國目附曾我平次郎殿

中野丸兵衛殿江戸ヨリ御越候テ被成御座候故十七日御參詣

御拜有之是又御供中迄御菓子出申候僧衆百四十二人僧衆小者

百四十二人是ハ御郡方ヨリ賜出利光院台崇寺兩寺中三十人

右之衆中御料理被下最諸役人不殘支度御菓子等迄被下委

細者御留帳有之故略之

一 御勸請之砌酒井讚岐守殿被得御内意御在國之内御神事

御執行被成度旨被仰上候外四月九月二季之分ハ御勝手次第ニ

御執行被成様ト人御事ハ隔年ニ相完申候其後 御當代

未 御入國不被遊内ハ毎年四月ニ御執行可被成由享保二酉月

廿三日被仰渡近年御參府半年ニ成候ハ又江戸御尋弥隔年

御執行當年四月未年九月心得可申段享保七寅四月十三日被  
仰渡

一 正保三丙戌九月十七日初而御祭礼於御旅所御執行所方ヨリ練物  
出候

花踊三人  
唐人踊

上之町

山伏大峯入六十人

中之町

石引踊

下之町

雲引踊

雲寺町

庭訓賣物

橋本町

岡山町中此五町之下、付出し御先

乘一人名不知

町奉行寺社奉行練物之跡ヨリ供奉仕候由但馬

引候而歩行之由

正保三戌ヨリ承應二己年迄ハ、右之通

候但御道筋ハ段々違申由候

一 御太刀持之儀御祭禮之刻御會議之上種性正敷地侍可然之由ニテ

兒島郡小串村高畠又兵衛

元龜天正之比小串之城主高畠市正又ハ知泉守氏  
小笠原末孫阿州高畠ヨリ来ル持高八土石四斗五升七合

上道郡中島村中島源左門

弘治永祿之比中島村領主中島筑前嫡子  
大炊之助末孫持高五石

右兩人正保三戌歲被召出持高御年貢御赦免ニテ至于今、御祭

礼之刻御道中御太刀持申候若兩人之内差合候ハ、御徒衆兩人罷出

相勤申候

唯今之高畠徳三郎右又兵衛五代目  
源左衛門、右之源左衛門ヨリ三代目

一 御家中御先中ヨリ馬廻リ之侍中迄騎馬所持之面々馬ニテ御旅ハ

罷出御在國之刻ハ御家中之馬

御上覽被遊候由初年者

瀧川縫殿屋敷ニテ

御上覽二度目ヨリ

酒折宮島居之内西ノ

方ニ御假屋出来候而

御上覽之由寛文五己迄右之通候處

午之歳ヨリ甲胃ニテ供奉被仰付御旅之馬場ニテ供奉御上覽  
故馬揃ハ止申候

予ノ實父喜多島忠右衛門久敷御奏者役相勤御祭礼之刻

馬場口テ例年馬揃之行列ヲ書附合クテ出シ申候外寛文之

初相役寺澤藤左衛門宗友名對談之刻御祭礼馬揃之騎

馬年ノ減少テ當年ハ漸ク五百騎ナラテハ無之由申候ハ藤

左衛門返答近年馬數増候儀ハ無ク一年々ト減リ氣之毒

申候段予幼少ニテ兼申候寛文四辰ノ年之馬揃所持之衆有之

付借リ見申候処辰ノ年ハ猶又減リ三百余ニ成申候定而御

家中江戸ノ恭留至又ハ當病ニテ出不申衆モ數多可有之候ハ氏

早一兩年之内百餘減リ申候唯今ハ猶以減少可有之存辰ノ年帳

面ニ九ノ書記申候寛文四甲辰歲九月十七日御祭礼馬揃之次第

御老中 池田出羽 伊木長門 池田伊賀 池田信濃

土倉淡路 日置猪右衛門 池田主税 池田三郎左衛門

池田五郎兵衛 池田大學 日置九門 伊木玄蕃

伊木長九郎 正木市正 組外 下方覺兵衛 丹羽七之丞

組外 大村定平 山崎大膳 山内權左衛門 大横目 本林半右衛門

御歩行頭 渡邊友之介 御納戸 小幡源八 御勘定奉行 片山勘九衛門 御近習 鑓奉行 中野仁右衛門

御近習鑓奉行 名黒後藤兵衛 御小兒頭 尾関源次郎 御鷹方 小塚段兵衛 御内證付 浅野孫介

御内證付 坂井長兵衛 七郎左門名代 菅 小左衛門 大口惣右衛門



佐分利三郎

佐久間兵介

大小性頭安藤木二

組頭大野十兵衛

垣見半兵衛

中村孫四郎

岩室五郎左衛門

森本三兵衛

湯浅源九門

河口多九衛門

山田平兵衛

熊澤權八郎

石黒久兵衛

野間久右衛門

寺内太郎左衛門

菅 弥兵衛

堤 八兵衛

加藤七大夫

立野八郎兵衛

組頭淵本甚五九衛門

大小性頭伊木頼母

組頭山下文九衛門

名倉彦太郎  
郷九門名代

瀧並九兵衛

岡村權兵衛

藤岡六九衛門

江見 仁兵衛

武藤伊勢左門

松尾助八郎

服部三右衛門

今西利兵衛

土肥彦四郎

福嶋善兵衛

瀧源右衛門

一森彦三郎

薄田藤十郎

方組頭古田齋

組頭青地源之丞

鈴木半四郎

古田佐次右衛門

御鈔砲頭柴田市右衛門

同神圖書

御鈔砲頭和葉四郎右衛門

御鈔砲頭上坂外記

同伴 安九衛門

同水野助之進

同岸 織部

同岡田權之介

御鎗奉行御鎗奉行 木平兵衛

御鎗奉行荒尾内藏之助

御軍用凡上泉治部九門

御旗奉行安東平左門

圖書神圖書 兵衛

波多野波多野弥九郎  
傳九門名代

小作奉行田口五九衛門

御貸奉行別所次左衛門

番頭土肥飛彈

飛彈同 助次郎

河合清大夫

同 七左衛門

矢部源右門

古田番右門

林 子九衛門

森寺九左衛門

河田吉兵衛

進藤物九衛門

梶川九左衛門

福岡徳右門

鶴見七右衛門

梶浦勘介

伊丹半右門

榎並久大夫

番頭瀧川縫殿

縫殿同 儀大夫

伊丹半右門

榎並久大夫

船戸助九郎

大久保彦兵衛

生駒權内

栗原清左衛門

滝川七郎左衛門

内田九郎右衛門

組頭竹腰八郎右衛門

池田美作

野村惣左衛門

須加小八郎

梶浦兵左衛門

丸毛七兵衛

河口忠左衛門

野津猪大夫

生駒平大夫

富田又兵衛

落合弥左衛門

富田久兵衛

岸久太郎

田宮市兵衛

梶川安右門

中村十左衛門

組頭田中源兵衛

番頭池田藤齋門

高木左近右門

波多野五郎右門

船戸七大夫

瀨崎六兵衛

梶田清右衛門

堀江新之丞

加納小左衛門

組頭大橋与右衛門

香取治部右門

正木三十郎

安丹三郎右門

番頭松浦七郎兵衛

石田鶴右衛門

土方傳兵衛

薄田長兵衛

宮城大藏

竹村小藤左門

服部半左衛門

荒井六兵衛

中村彦左衛門

笠井太郎兵衛

久馬介伴日置權之介

組頭同久馬三介

番頭池田數馬

横井次郎左門

薄田四郎右門

岡田四郎左門

斎藤弥三郎

杉浦忠兵衛

水野甚右衛門

辻勘介

一原九郎兵衛

齋藤仁左衛門

日原五郎大夫

惣兵衛伴田中治兵衛

組頭田中惣兵衛

熊谷八大夫

長賀定右衛門

荒尾長兵衛

番頭若原監物

加世八兵衛

中村又三丞

小崎吉左衛門

大杉久左衛門

香取儀右門

組頭丸毛治右衛門

正田孫九衛門

當病<sup>不出</sup>土倉隼人組

組頭 薄田兵右衛門

山内八右衛門

生駒半右衛門

小川水工之介

下野平大夫

堀内六郎右衛門

薄田孫右衛門

小泉四郎大夫

大橋三右衛門

赤尾清右衛門

武藤佐右衛門

神屋久次郎

武藤勘右衛門

小川弥六

竹内五郎右衛門

上山權兵衛

堀弥次右衛門

伊庭源六

高木甚右衛門

伊庭丰藏組

阿部傳右衛門

吉田定右衛門

渡邊十郎右衛門

立野番大夫

長谷九郎大夫

青木忠大夫

北教井治右衛門

佐稀弥右衛門

岡彦右衛門

伊庭平馬

牧野又右衛門

守田源右衛門

村井傳右衛門

中田三郎大夫

和田庄右衛門

櫻木作之進

三宅九右衛門

加藤次郎右衛門

堀清右衛門

牧野三郎

波多野權七郎

加藤五右衛門

山本茂右衛門

田中惣右衛門

將監 真田三弥

岩井源四郎

藤岡八郎右衛門

池田主税組

丹羽次郎右衛門

伊藤佐五右衛門

古田源介

小島儀右衛門

雀部六右衛門

長谷川弥平次

河原權三丞

安井六郎右衛門

渡部傳右衛門

佐治十右衛門

塩川吉大夫

小堀彦九衛門

國府兵右衛門

中村源右衛門

野村平六

浦上五右衛門

柴山蘭右衛門

伴五郎右衛門

石田弥次右衛門

圓山九右衛門

秋田五右衛門

長屋茂右衛門

番頭 湯浅民部

湯浅民部

同八右衛門

石田弥次右衛門

須賀七郎左門

梶田彦八

宮脇夫左衛門

岡田五郎大夫

番頭 井上庄介

河合善大夫

大林清右門

組頭 湯浅亦右門

番頭 草賀宇左門

宇右門辨 同松之介

佐分利強右門

鳥井清左門

千石忠左門

中野治左衛

松田七左衛

松田与三右門

番頭 糟谷茂左門

松下市郎左門

依之九平太

組頭 依分利強右門

番頭 芳賀内藏允

塩川源左門

香川亦右門

河合助之丞

上島彦次郎

林安兵衛

次郎之衛辨 岡平左衛

組頭 岡次郎左衛

當病付不出 山脇源大夫組

組頭 村上九九門

山脇三郎左衛

同九之丞

番頭 今枝孫左衛

川田市郎左衛

橋本藤左門

後藤平大夫

番頭 尾關兵庫

佃喜左衛

佐々文左門

梶田半介

渡邊理左門

組頭 古澤源之丞

組頭 村瀬平右門

同与一左門

池田信濃組

津田九源太

安藤善大夫

同与一左門

松本大九郎

庄左門名代 八田彌三左門

八田傳九門

河崎夫左衛

丹羽平之丞

鈴木加左門

和田平介

安田平右門

右之外御普請奉行熊谷源太左衛 中村四郎左門 御奏者喜多

島忠右衛門 水野作右衛門 寺澤藤九衛門 大目附一人 名不知

御旅所騎馬練出仕廻候于 銘之馬ハ率セ罷立候

一 承應三甲午七月十九日備前大洪水三町方練物止御旅所モ洪水三町

大損并於 御花畠九月十七日 御祭礼御執行被遊候由是年

明曆元乙未歲四月十七日之御祭礼者御旅而御執行而候哉  
御花畠ニテ候哉此年江戸御参勤年

一明曆二丙申歲九月十七日ヨリ流鏑馬十番初而被仰付

流鏑馬初リ候一兩年之内之儀御坐候哉御家中之評判因州ニハ

流鏑馬白樂仁御乘セ被成候由致承知侍正乘候儀如何上申族督之

段被聞召御城ニ候哉所不慥上泉治部左衛門東鑑ヲ御讀セ

御家中之諸士御聞セ被成候儀御座候由承傳申候鎌倉

將軍之比若宮ハ幡宮之流鏑馬歴之武士乘熊谷次郎初黨ノ藤  
頭真實子

的持之役ヲ勤候条侍役之段治部左衛門申聞候由于今詔傳申

候

古田一奉中 古田段右工門

津田半十郎

梶田彦八郎

村尾又一郎

寺内七郎右工門

柴田重三郎

中村孫四郎

熊沢權八

鈴木半四郎

大橋平三郎

加納寛右工門

近藤甚七

石尾喜六郎

松尾助八郎

河合源五郎

明曆三丁酉四月十七日

石黒市内

市森彦三郎

野坂八郎右工門

石黒藤八

村瀬權之丞

玉虫久之丞

後藤八之丞

八木徳左工門

城戸作右工門

森勘多衛

下方万石工門

村山又左工門

西脇吉大夫

須加七郎左工門

上島彦介

津田八左工門

大杉久左工門

菅万介

磯部兵介

稲川庄三衛

古田千之衛

野津源大夫

河合善大夫

伴孫之進

河合千之衛

玉木三郎右工門

守田与五郎

番藤三郎

守田中治左衛

武藤伊勢左門

下万覺右衛

中野孫三郎

万治元戊戌四月十七日

一 波多野 半兵衛  
一 河野 弥平太  
一 安藤 与左衛門  
一 太田 又四郎

万治二乙亥九月十七日

一 菅 八内  
一 國府 四兵衛  
一 松田 与右衛門  
一 小川 左兵衛  
一 波多野 弥九郎  
一 新井 仁左衛門  
一 佐分利 源之丞  
一 村山 半之丞  
一 梶川 市右衛門  
一 服部 勘平  
一 大久保 助八  
一 石黒 小兵衛

万治三庚子九月十七日

一 春 田 十大夫  
一 結 田 左内  
一 河崎 夫兵衛  
一 横井 勘兵衛  
一 加藤 作之丞  
一 松原 助六郎  
一 菅 脇 文左衛門  
一 大橋 茂之衛  
一 門田 茂右衛門  
一 片岡 次郎大夫  
一 岡 彦左衛門  
一 石川 藤三郎

寛文元辛丑四月十七日

一 石黒 藤八郎  
一 田 左兵衛  
一 富田 猪兵衛  
一 牧野 三四郎  
一 飯田 傳右衛門  
一 正木 三十郎  
一 名倉 彦太郎  
一 小川 平八  
一 阿部 傳左衛門  
一 富田 又兵衛  
一 服部 源之衛

寛文二壬寅九月十七日

一 門田 茂右衛門  
一 堀 弥七郎  
一 山本 茂左衛門  
一 村上 孫八郎  
一 波多野 權七  
一 上山 又三郎  
一 市原 九郎兵衛  
一 藤岡 傳九郎

寛文三癸卯九月十七日

一 加納 覺左衛門  
一 身居 清七  
一 立野 八郎兵衛  
一 橋本 藤九郎  
一 中村 孫四郎  
一 河田 与右衛門  
一 滝 小兵衛  
一 尾世 助五郎

一 岩田 庄之衛  
一 薄田 長大夫  
一 那須 半之丞  
一 上島 彦二郎  
一 山田 弥九郎  
一 須加 久之衛  
一 行田 平八  
一 吉田 定右衛門

此年朝之内雨天益ヨリ  
御祭礼御執行カ

一 權部 六左衛門  
一 鈴木 加左衛門  
一 香取 治部右衛門  
一 野中 市左衛門  
一 安藤 利之衛  
一 菅沼 源兵衛  
一 渡部 十郎左衛門  
一 鶴見 源十郎

一 神木 安大夫  
一 神子 田七郎  
一 中島 松九郎  
一 薄田 弥四郎  
一 和田 平介  
一 松田 七兵衛  
一 香藤 仁左衛門  
一 中牟田 三次郎

一 香取 儀右衛門  
一 芹川 与右衛門  
一 丹羽 八弥  
一 牧野 与十郎  
一 八田 傳左衛門  
一 稻谷 茂左衛門  
一 水野 傳三郎  
一 岸 久右衛門

一 尾瀬 戸七大夫  
一 尾瀬 又四郎  
一 柴山 又六  
一 赤尾 清九郎  
一 塩川 喜九郎  
一 三好 弥八郎  
一 加藤 源七

竹内五郎左門  
神屋久次郎  
高来子三九門  
菅八内

寛文四甲辰九月十七日

此年ヨリ競馬弓才

野坂八右衛門  
笠井平右衛門  
玉虫久之丞  
雀部九内

津田八左門  
竹村小平右

五藤八兵衛  
堀江權右門

森九兵衛  
佐橋孫之丞  
村瀬權四郎  
生駒市兵衛

渡部金九門  
波多野甚左門

上島彦介  
金森安右門

下野久太夫  
佐藤權兵衛  
永井善九門  
城戸作右門

寛文九己九月十七日

葉山平右門  
丸毛七兵衛  
田宮平兵衛  
野村友三竹

梶浦平四郎  
水野甚左夫

正田孫九門  
下野八右門

小川弥七郎  
加藤權之丞  
河原權之丞  
塩川甚助

香川三四郎  
林安兵衛

馬場五右門  
古田左次門

後藤太左門  
渡部勘平  
矢部權四郎  
梶田彦八郎

一寛文六丙午九月十七日此年ヨリ酉ノ年迄四ケ年甲冑騎馬ニテ

供奉被仰付御旅所馬場江通り

神輿前

御前ニテ馬上ニテ

供人召連行列ニ罷通入

御上覽候ニ付競馬ハ止申候

物行列之次第

歩者

歩者

竹杖  
足輕拾八

歩者

歩者

徒目附

卷末

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

徒目附

卷末

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

大横目御鐵砲二十枝 御鐵砲頭

此間九間

此間十間

御弓貳拾挺 御弓頭

此間十間

卷末

卷末

御紙



步者

御鎗 五十本  
御鎗奉行  
此間在間

步者

御 劔

御神 御鉾 同 獅子 神馬

御 劔

白張拾人

大鼓 鐘 御幣 御輿

白張拾人

徒目附

杖突十八

羽織

袴目附

鷹匠拾人

徒目附

杖突十八

羽織

袴目附

鐵明  
自張格女差林 四目條

組付鐵砲十引廻士同 番頭

鐵明  
自張格女差林 四目條

羽織  
者

組不殘 組頭

羽織  
者

今 一組

寛文六年九月十七日

刺物黒切半白餅三ツ

御鐵砲二拾

刺物赤切半白餅三ツ

御鎗五十

刺物金組段四半

組付鐵砲

小纒金ノ角取紙

刺物白切半輪貫

土肥飛彈

上ツ下節朱輪貫

古田番右工門

同淺黄七曜

林七兵衛

同白輪之内鱗形

渡部金左工門

同白蛇之目方三ツ宛

村瀬金右工門

刺物赤四半白キ十字

御弓二十

刺物白シナ黒釵菱

組付鐵砲

刺物組シナ白キ十字

同

稻川十郎右工門

河合清大夫

矢部權四郎

源右工門名代

刺物赤切半輪貫

土肥助次郎

同金ノ釵菱

森寺九左工門

同白角折敷之内柏

河田吉兵衛

同白輪之内矢筈ニツ

進藤惣左衛門

同白亀甲

城戸作右工門

羽織 徒四行

羽織 徒四行

行列如荷

同ニツタンゴ 福岡徳右門

刺物赤角取紙 梶浦勘介

刺物浅黄<sup>三</sup>之梅鉢<sup>三</sup> 菅小九衛門  
同組付鉄砲 寛文七門各代

刺物半白黒石<sup>三</sup> 庄野市右門  
同組付鉄砲

刺物浅黄輪貫 長加定右門

小繞銀人唐人笠上鳥毛

刺物白キ茶袋 若原監物

刺物白キ野<sup>フ</sup>スマ 大村定平

又ツル下節白柏丸 大村又八郎  
定平悱

又ツルイ只ノ三字白 茨木安太夫

同白キ山道 熊谷八太夫

同九曜 荒尾長兵衛

同三ノ魚 大物久左衛門

同鞠棹内鱗形 加世八兵衛

同三ツク<sup>三</sup>串刺 高橋長太夫

同正ノ字白<sup>シ</sup> 正田強九郎

同下<sup>一</sup>節米袋<sup>三</sup>重菱 村田小右門

刺物白<sup>シ</sup>之朱餅 丸毛治右門

寛文七未九月十七日

刺物ニキ又ツル白切サキ上白<sup>三</sup>ツコ<sup>一</sup>ツ 陸田市左衛門

刺物黄<sup>シ</sup>ノ<sup>四</sup>半<sup>三</sup>赤餅 深谷甚右門

同泥色<sup>シ</sup>上白キ名苗字 生駒半左門

御子<sup>五</sup>貳拾 榎並久太夫

同白<sup>キ</sup>半<sup>三</sup>緋地扇子内朱餅 後藤文右門

同<sup>シ</sup>上白<sup>下</sup>花色白<sup>所</sup>九<sup>巴</sup>黒 榎並久太夫

太郎左衛門此年大坂へ御参拂罷越出不申引廻し御呈輕  
拾人行列ハ縫殿先へ立申候由

葉山郎左門

小繞金ノ三ツタンゴ

刺物母衣張紫金餅 滝川縫殿

刺物母衣張赤白キ餅 滝川儀太夫

又ツル下<sup>一</sup>節赤輪貫 舟戸助九郎

又ツル白藤ノ丸大<sup>ノ</sup>字赤<sup>ノ</sup> 大久保彦兵衛

同白輪<sup>三</sup>内<sup>五</sup>白<sup>ク</sup> 陸田杵之丞

同白下<sup>リ</sup>藤ノ丸上<sup>ニ</sup> 加藤九九郎

同白餅内黒<sup>五</sup>トク 河田助左門

同輪貫<sup>三</sup>内<sup>二</sup>ツ金 森九兵衛

同白餅ニツ 生駒權内

同丸内白カクニツ 栗原清九郎

同白三ツ星三所 金森安右衛門

同下二節 生駒内  
生駒弥左衛門

刺物黒シ文金餅ニツ竹越伴内

刺物上二節地白黒梅鉢ニツ  
組付鉄砲 薄田四郎右衛門

刺物四半惣白スソ黒  
組付鉄砲 杉浦忠兵衛

小続ハシモ一頭笠赤ク白赤切カケ上ニ白ダンコ一ツ

刺物四半地赤白キ餅 池田數馬

五ツル下二節白笹内 同田四郎左衛門

五ツル下二節四半惣白 惠藤作大夫

同白キ木札 船橋七郎左衛門

同自立波内永樂字 水野甚五兵衛

同白杵 滝多左衛門

同白片輪車ニツ 辻勘介

同白スズニツ下梅鉢ニツ 横井次郎左衛門

同白車内矢筈ニツ 服部善大夫

同丸内カラ松白ク 吉田新左衛門

同下り藤丸 市原九郎兵衛

同厨汁ニツ星白ク 齋藤仁左衛門

刺物四半南取紙上白 池田吉九郎

數馬組頭田中惣之衛 此年  
在江戸ニ付 押吉九郎門 罷出

寛文八申九月十七日

刺物白キ笠 御鉄砲二十 上坂外記

刺物紺ノ半白キ餅 御弓二十 同田權之介

刺物花色ニツ白名苗字 御鎗五十 生駒半右門

小続赤半月浅黄ノレン

刺物浅黄ニツ白山道 安藤 本工

刺物黒母衣出ニ金半月 山下文左衛門

刺物白母衣出ニ銀短尺 名倉平藏

刺物白母衣出ニ銀短尺名倉字 森本与三兵衛

同 岩室十介

同 河口多左衛門

同

熊澤權八郎

同

山田平兵衛

同

石黒久兵衛

同

立野八郎兵衛

黒母長<sup>出</sup>金<sup>ノ</sup>判<sup>月</sup> 淵本甚五郎

刺物<sup>富</sup>半赤<sup>五</sup>字<sup>野</sup>打惣<sup>左</sup>工<sup>門</sup> 組附鉄砲

刺物<sup>シ</sup>白<sup>泉</sup>段<sup>組</sup>付鉄砲

須賀五郎

小繞 狸々皮唐人笠下白赤切サキ

刺物赤四半 池田美作

刺物赤<sup>一</sup>節<sup>五</sup>ツル

池田勝<sup>上</sup>口<sup>美</sup>作<sup>作</sup>

エツル下<sup>一</sup>節<sup>九</sup>ノ内<sup>十</sup>文字 梶浦兵左衛門

エツル下<sup>一</sup>節<sup>角</sup>之内<sup>凡</sup>之紋

丸毛七兵衛

同赤コト干 富田猪兵衛

同白三輪貫

生駒平大夫

同白輪之内コト干 富田又兵衛

同金之輪内金桔枝

落合亮三郎

同白馬御 尾瀬又四郎

同赤コト干

富田久兵衛

同金ノ一水 岸久太郎

同白若荷之丸

田口市兵衛

同金ノ裏錢 梶川安左衛門

刺物一ツ頭

齋藤弥三郎

刺物<sup>浅</sup>黄<sup>黒</sup>シテ<sup>上</sup>白<sup>筋</sup>ニ<sup>加</sup>藤<sup>与</sup>一<sup>左</sup>工<sup>門</sup> 組付鉄砲

刺物<sup>赤</sup>ノ<sup>上</sup>白<sup>角</sup>取<sup>紙</sup>組付鉄砲

堀清左門

小繞 白キ白角取紙脇ニツ上ニツ

刺物<sup>浅</sup>黄<sup>シ</sup>ウ<sup>形</sup>赤<sup>餅</sup>一<sup>ツ</sup> 真田将監

刺物<sup>切</sup>サキ<sup>半</sup>月<sup>上</sup>金<sup>シ</sup>テ<sup>真</sup>田<sup>三</sup>弥<sup>将</sup>監<sup>作</sup>

エツル下<sup>一</sup>節<sup>白</sup>柏<sup>ツ</sup> 牧野又兵衛

エツル<sup>一</sup>節<sup>白</sup>餅<sup>内</sup>赤<sup>キ</sup>唐<sup>人</sup>笠

三宅九右門

同白松川菱 加藤次郎左工門

同白角内朱輪違 和田庄左工門

同白立筋一 牧野三四郎

同中黒輪之内三柏 牧野長五郎

同丸内朱ノ七曜 櫻井孫三郎

同浅黄柏一ツ 牧野与十郎

刺物<sup>黒</sup>シテ<sup>白</sup>白<sup>道</sup> 真田喜平次 将監孫

刺物<sup>浅</sup>黄<sup>シ</sup>テ<sup>上</sup>赤<sup>眞</sup>用<sup>丸</sup> 丹羽惣兵衛

寛文九年九月十七日

刺物折掛上黒餅一ツ  
御鉄砲二拾  
荒尾内藏助

刺物金馬櫛下浅黄ノシ白餅内浅黄上ノ字  
御鎗五拾  
宮部源大夫

小繞 銀之升形上小鏡

刺物浅黄シ丈 伊木頼母

刺物白母衣出銀短尺 名倉平藏

同 武藤儀右三門

同 滝七九工門

刺物浅黄シ丈朱ノ乱星  
組付鉄砲  
梶田清右門

刺物浅黄一筋上ノ朱角取紙  
御弓二拾  
青木善大夫

刺物黒母衣出シ金唐團 岡村權兵衛

同白母衣出シ銀短尺 松尾助八郎

同 江見仁兵衛

刺物黒母衣出シ金半目 山下文九工門

組付鉄砲

服中ニ出不罷出候由  
高木左近右門  
代リ不出御鉄砲御書頭  
先ニ候哉不知

小繞 金ノ團子下白暖簾切サキ朱餅

刺物素麵形上ノ  
浅黄角取紙  
池田藤右工門

刺物白三幣

池田川八  
藤右三門

工ツル下二節白餅内  
舟ノ字  
舟戸七大夫

工ツル下二節白輪違  
瀬崎六兵衛

同白丸内 鱗  
鱗江新之丞

同白龍之字

玉虫孫九郎  
久之丞

同柏少違下三巴  
加納覺右工門

同白カトル内 釵菱

馬場茂右三門

同白キ丸内金鳳凰  
波多野節左門

同白井筒

大橋与右工門

同一方ニ朱餅一方  
白ノ子題目  
安井又四郎  
三郎皇別名代

同白餅之内滝之字

瀧 力之介  
源右三門名代

同白餅内黒カハ  
白筋一  
久保田彦兵衛

刺物鳥毛半月中金

下野宗兵衛

組付之鉄砲未無之候

小繞 金切サキ輪貫二ツ



刺物赤切サキ上奉輪違芳賀内藏允

エツル下節筆本白ク 塩川源丸工州

エツル下節筆矢車 八木徳左工州

同三ツ亀甲 香川三四郎

同紺白ツキツキ白所 亀島左介

同劔菱凡何モ白ク 河合助之丞

同モツコウ 上島彦次郎

同凡内三引上中三寸 佐久間兵介

同短尺白ニツ 長谷川七三介

同菱輪 中村加兵衛

同白餅大ノ字 大口市右工州

同半分黒半分白所 塩川甚介

刺物熊モタシコニツ 次郎兵衛

同白餅大ノ字 源丸所名代

一 御徒目附其外平徒中

神輿之廻り之供奉之外ハ猩々皮之羽織袖ナニ二年目ヨリ股引脚

半草鞋ニテ候由是ハ二組之行列見廻之様ニ承傳候

一 權現様御鉄砲御弓之者御鎗持氏小頭迄モ袖ナニシテノ黒草ノ羽

織後ニ金ノ横筋有之浅黄木綿股引脚半組付鉄砲之者ハ御陣用

之具ニ張笠股引脚半刺物貳奉ニテ組上ニ釘貫御紋下ニ頭ノ定

紋花色ニテ方籠手小頭具足組布錦巻刺物一奉ニテハ紋所右同杖突

木綿弓籠手色ハ面々心次第ニテ仕候供奉之面々家系若黨下ニ木

綿將衣束銘物數奇次第大形主人紋所大紋ニ付股引脚半三尺

半拭迄對仕人數ハ二三百石迄ハ若黨二三人五六百石迄ハ四五人召連

候御番頭衆供之人數不承候

一 御領分ノ受領ノ神職中供奉ハ寛文七八年ニ比ヨリ初候由將衣束ハ

御貸被成賄科モ一人三匁宛被下候如近年四匁宛被下候近江ハ

貞享四位階致供奉肥後、無官、比ヨリ罷出越後、位階以後  
出勤

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

一 寛文十戌、秋ヨリ御家中御物成三ツ被下、付甲冑ノ供奉ハ止御小  
性頭大小性衆十人計騎馬ニ而慰平目麻上下常之供人ニ而兩年  
供奉被仰付候小性組付之鉄砲ハ出不申候哉ト存候具時分ハ  
未引廻ニ無御座候

御鉄砲 津田元源太 御弓 片山勘左門

御鎗 高木甚右門

御小性頭 安藤木工 森本善惣兵衛 河口多左門 熊澤權八郎

石黒藤兵衛 滝川仁右門 戸川文左門 山田平兵衛

稻川久三郎 寺西治右門 組頭 大野十兵衛

大横目 津田十次郎 服部与三左門

一 寛文十二亥四月十七日

御鉄砲 山崎大膳

御弓 南部次郎左門

御鎗 岡島新兵衛

御弓 山田平兵衛

<sup>御性頭</sup>安藤木工 大野十兵衛

河多左門 熊澤權八郎

山田平兵衛 瀧川仁左門

石黒藤兵衛 寺西治右門

有松次郎兵衛 岡野左大夫

<sup>大横目</sup>水野作右門 <sup>同</sup>近藤覚兵衛

一 寛文十二子九月十七日

曹源寺様比年御家督又御馬廻一組供奉被仰付候(元御

留三不見粗承候分記之

稲葉四郎左門

御弓 中村久兵衛

御鎗 高文儀右門

<sup>鉄砲引廻</sup>服部清右門 <sup>鉄砲引廻一人</sup>森川九郎左門 此年八月、病死存代り上坂外記

<sup>番頭</sup>宮城大藏 <sup>組頭</sup>日置孫左門 <sup>組頭</sup>竹村小平太 竹村小左門

芥川右右衛門 <sup>右三人、銘、御奉公品</sup>土方衛兵衛 <sup>此年在江戸、而不出由</sup>薄田長兵衛

太田又四郎 笠井左郎兵衛 真野喜兵衛 荒井六兵衛

中村長左門 下方忠左門 <sup>右十人之内六七八人出申、而可有御座候(元</sup>

一 延寶元丑九月十七日

御鉄砲 古田齋 御弓 森川九兵衛

御鎗 石黒後藤兵衛

御鉄砲引廻  
佐之文右三門  
同  
齋藤仁左三門

番頭  
草加守右三門  
那須忠次郎

波夢野八郎左三門  
安田市左三門

佐々甚六郎  
古田源介

大横目  
服部与右三門  
同  
山田弥太郎

一延宝二寅四月十七日

御鉄砲  
薄田藤十郎

御鎗  
小川門大夫

番頭  
同部長左三門  
那須半左丞  
清左三門各代

廣内權左三門  
安田孫七郎

組頭  
淵本甚五左三門  
山田弥太郎

大横目  
服部与右三門

一延宝三卯四月十七日  
此年

御鉄砲  
荒尾内藏介

御鎗  
小川門大夫

鉄砲引廻  
長賀定右三門  
同  
熊谷傳三衛

番頭  
稻葉四郎右三門  
河田与右三門

櫻木作之進  
同田左七郎

組頭  
村山亦左三門

松田七兵衛  
仙石久右三門

飯田傳右三門  
鳥井弥次進

組頭  
山田市助左三門

御弓  
九毛左近右三門

和田平介

磯部喜兵衛

鈴木新五衛

菅沼小涼太

禁裏御造管御手傳三付組々ヨリ

御弓  
牧野弥次右三門

古田番右三門

同  
古田番右三門

船戸助九郎

土方衛兵衛

小泉勘之丞

番兵左三門

同

同

大横月  
近藤覺兵衛 同役  
能勢數馬

一 延宝四年四月十七日

御鉄砲 深谷甚左衛門

御弓 田中真吉

御鎗 小川洲大夫

鉄砲引廻 梶浦平四郎  
兵左衛門各代

番頭 池田左兵衛 富田猪兵衛

須賀七郎左衛門 大野清左衛門

渡部理左衛門 浅野孫介

落合三郎大夫 古澤源丞

田上孫由郎 津田八左衛門

大横月 水野作右衛門 同 近藤覺兵衛

一 延宝五年九月十七日

此年外記組不定有組より抜入

御鉄砲 岡田權之介

御弓 水野治兵衛

御鎗 瀧七左衛門

鉄砲引廻 山田弥左衛門 同 先山百右衛門

番頭 坂外記 河合源兵衛

河原權之丞 山内甚四郎

松浦次郎八左衛門 高木左近右衛門

須賀八郎 中村左衛門

岸久太郎 細頭 村与左衛門

大横月 長屋新左衛門 同 下濃宇兵衛

一 延宝六年四月十七日

御鉄砲 山崎大膳

御弓 南部次郎左衛門

御鎗 小川門右夫

録砲引廻  
山脇九之丞

同  
波野九郎

番頭  
山脇傳内

山脇茂兵衛

松本少介

鈴木加左門

堀江新之丞

梶田彦兵衛

後藤景高

津川甚左衛

大林甚七郎

組頭  
浦上十右衛

後藤景高

津川甚左衛

大横目  
近藤覺兵衛

同  
下濃守兵衛

後藤景高

津川甚左衛

一延宝七未九月十七日

御録砲

服部子右衛

御弓

大杉平之丞

御鎗

武田猪兵衛

御弓

大杉平之丞

録砲引廻  
雀部六左門

同  
竹村小平太

上村忠兵衛

平井六郎右衛

堀甚兵衛

渡部十郎右門

長谷川兵大夫

塩川安大夫

大横目  
浅野孫介

組頭  
齋藤加介

上村忠兵衛

平井六郎右衛

大横目  
山田弥太郎

同  
長屋新左門

上村忠兵衛

平井六郎右衛

一延宝八申四月十七日

御録砲

梶浦勘介

御弓

奥山市兵衛

御鎗

武田猪兵衛

御弓

奥山市兵衛

録砲引廻  
河原權之丞

同  
番兵左門

御弓

奥山市兵衛

番頭  
小堀主殿

梶浦平四郎

櫻木作之進

丹羽惣左門

小泉子右門

高橋長次夫

玉井平左門

宮脇川兵衛

村井六左門

組頭  
梶田清左門

玉井平左門

宮脇川兵衛

大横目  
山田弥太郎  
同  
近藤覚兵衛

一天和元酉九月十七日  
此年ヨリ御馬役衆其年於江戸御拜領之御馬地道早道迄來次競馬畜宛至今被仰付

御鉄砲  
泉石工門  
御弓  
河村平太右衛

御鎗  
田口兵左工門

鉄砲引廻  
薄田長兵衛  
同  
梶川佐次兵衛  
同  
惠藤源内

番頭  
土肥飛彈  
古田源兵衛  
同  
河合源兵衛  
林源三郎  
七之衛名代

野中市左工門  
青木久五郎  
八田弥兵衛  
玉虫孫九郎

細頭  
松浦次郎八

大横目  
長屋新左門  
同  
下濃宗右衛

一天和二戌四月十七日  
御鉄砲  
津田十次郎  
御弓  
丹羽次郎右門

御鎗  
武田猪兵衛

鉄砲引廻  
寺西治左門  
同  
惠藤源内

番頭  
岸織部  
同田九七郎  
那須半兵衛

柏尾六之丞  
同田右三門  
岩田十大夫  
武藤弥兵衛

細頭  
渡部源四郎  
薄田兵左門

大横目  
下濃宗兵衛  
同  
長屋新左門

一天和三亥九月十七日  
雨天  
御居祭 此年 御居祭 初小集候

御鉄砲  
山田弥太郎  
御弓  
近藤覚兵衛

御鎗  
斎藤加介

鉄砲引廻 波野甚左門 同 今枝孫兵衛

番頭 伊木頼母 佐分利弥八郎 竹腰次郎兵衛 猪谷茂左門

宮脇川兵衛 一原九郎兵衛 安井弥三右門 行田六郎右門

片山加右門 組頭 村瀬段右門

大横目 水野助三郎 同 安藤清九郎

一貞享元子四月十七日 玉野武兵衛 御弓 大野十兵衛

御鉄砲 御弓

御鎗 武田楮兵衛

番頭 富田久兵衛 同 松幸左大夫

山崎大藏 柴田左門 河田加右門 中村源右門

大横目 依分利甚五郎 田上左大夫 水野加兵衛 小島亀右門

水野助三郎 同 熊谷清九郎

一貞享二五九月十七日 此年ヨリ 還御之刻供奉之面之家来不残馬正行 列ニテ御旅馬場ヨリ通リ入 御上覽但馬上ニテハ無之

御鉄砲 中村治左門 御弓 寺澤藤兵衛

御鎗 齋藤加介

鉄砲引廻 安東平左門 同 田中源兵衛

番頭 伊木兵庫 佐分利弥八郎 片山新左門 中村又三丞

大横目 小泉右五門 組頭 日置平左門

水野助三郎 同 稻川佐内



一貞享三庚四月十七日

雨天三月御居祭

御銃砲

藤岡内介

御弓

八田弥三右門

御鎗

塩川吉大夫

銃砲引廻  
河口多左門

同  
波野八郎左門

同  
杉浦作左門

番頭  
瀧川縫殿

堀内半平

生駒市兵衛

神屋久次郎

武藤文内

内田三郎右門

石黒後藤兵衛

森島甚左門

組頭  
森川助左門

大横目  
下濃半兵衛

同  
水野助三郎

一貞享四卯九月十七日

御銃砲

岡田源次夫

御弓

北尾九郎右門

銃砲引廻  
河合善大夫

同  
木崎九右門

番頭  
丹羽平大夫

同  
松原助六郎

同  
尾浦平四郎

同  
櫻木作之進

富田庄兵衛

河合喜兵衛

組頭  
村上藤左門

同  
和田与右門

大横目  
中村源四郎

同  
結城新之丞

同  
梶田清右門

同  
安藤清九郎

同  
伴半兵衛

一元禄元辰四月十七日

御銃砲

津田十次郎

御弓

森川九兵衛

銃砲引廻  
御鎗

同  
廣内權左門

同  
中村甚介

同  
松原助六郎

同  
中村甚介

同  
中村甚介

番頭

伊庭左右衛門

牧野左衛門

山内甚四郎

岡田甚四郎

滝川弥左衛門

水野治兵衛

村田弥兵衛

吉田新左衛門

組頭  
舟戸七大夫

水野助三郎

能勢左衛門

一元禄二己九月十七日 此年ヨリ

神樂所之御足輕十人増廿人ニ成申候

御鉄砲

中村甚左衛門

御弓

泉八右衛門

御鎗

木崎九左衛門

鉄砲引廻  
田中源兵衛

森三大夫

同  
雀部左内

番頭  
若原監物

竹腰次郎兵衛

片山新左衛門

丸毛儀兵衛

日置十左衛門

高橋長大夫

高橋文九郎

櫻井文九郎

大横目  
渡邊助之丞

同  
近藤作之丞

一元禄三年四月十七日

雨天ニ付御居祭

御鉄砲

津田八左衛門

御弓

梶浦勘介

御鎗

茨木安大夫

鉄砲引廻  
阿部傳九郎

同  
佐々長兵衛

同  
今西半内

番頭  
草加左衛門

雀部左衛門

大塚圓右衛門

中野治兵衛

組頭  
香西五郎左衛門

佐利甚右衛門

安田市左衛門

高栗勘兵衛

大横目  
田中源兵衛

同  
能勢左衛門

渡邊助之丞

同  
能勢左衛門

一元禄四年九月十七日

此歳ヨリ町横目一人宛 御先拂、罷出候御馬御賃人有之候  
大形ハ馬率セ步行ニ候

御鉄砲

下方覺兵衛

御弓

池田水工

御鎗

廣内權左門

鉄砲引廻  
龜島左助

湯浅源左門

湯浅幸左門

河田幸左門

堀甚兵衛

大口平左門

渡邊幸左門

長屋忠兵衛

宮脇兵衛

中嶋治大夫

組頭  
喜多嶋忠左門

大横目  
下濃宇兵衛

同  
浅野瀬兵衛

一元禄五年申四月十七日

御鉄砲

池田勘兵衛

御弓

市川大兵衛

御鎗

茨木安大夫

鉄砲引廻  
土方衛兵衛

同  
岩根傳五郎

番頭  
池田吉左門

高木左近左門

船戸七大夫

丸毛元右門

野村小十郎

波野五郎左門

松田武介

須加小郎

大横目  
富田弥左門

組頭  
松本庄大夫

庄野夫左門

同  
馬場善左門

一元禄六年酉九月十七日

御鉄砲

日置幸左門

御弓

山田弥太郎

御鎗

馬場善左門

鉄砲引廻  
松田七兵衛

同  
塩川甚介

番頭  
上坂外記

荒尾猪三郎

別所忠兵衛

馬場半平

上嶋彦太郎

堀内源三郎

稻川久之丞

波多野夫左門

行田藤三衛

大横目  
奥山庄大夫

同役  
加藤源七郎

一元禄七戌四月十七日

御鉄砲

村瀬團右門

御弓

茨木安大夫

御鎗

廣内權左門

鉄砲引廻  
榎三大夫

同  
阿部傳左門

番頭  
水野三郎右衛

竹腰次郎右衛

荒尾長兵衛

高橋長大夫

奥山覚之丞

上村忠兵衛

櫻井文右門

太田善之丞

大横目

下濃守兵衛

同役  
伴半兵衛

一元禄八亥九月十七日

御鉄砲

寺澤藤左門

御弓

松尾助八郎

御鎗

田中真吉

鉄砲引廻  
今井勘右門

同  
大原半之介

番頭

津田九源太

岡次郎兵衛

那須半兵衛

柏尾六之丞

組頭  
村瀬久大夫

岡助右門

木全弥三郎

水主加兵衛

大横目

宮部清四郎

茨木九大夫

一元禄九子四月十七日

御鉄砲

大野十右衛

御弓

津田八右門

御鎗

赤座十郎右衛

鉄砲引廻  
吉田定右衛

同  
佐分利甚五郎

同  
中牟田三郎

番頭  
稻葉四郎右衛

村山頼兵衛  
北九工門名代

野間三之丞

安井助左門

古澤隆三丞

吉井藤内

大橋左右門

岡田甚大夫

組頭  
竹村小平太

大横目  
藤岡勘右門

同  
加藤源七郎

一元禄十五九月十七日

御鉄砲

山田弥太郎

御弓

泉八右門

御鎗

木崎九右門

鉄砲引廻  
湯浅源九門

同  
石黒藤兵衛

番頭  
伊木将監

雀部六左門

依布左門

久保田半之進

組頭  
斎藤兵三門

平野十藏

堀甚兵衛

村田作左門

田中源兵衛

大横目  
宮部清四郎

同  
薄田兵左門

一元禄十一寅四月十七日 雨天三付御居祭

御鉄砲

中村治左門

御弓

市川大兵衛

御鎗

竹村小平太

鉄砲引廻  
波多野弥九郎

同  
野村次郎衛

番頭 山脇傳内 山脇茂兵衛 南部七之介 梶田彦六郎

村上喜三郎 滝源次郎 三好夫兵衛 長谷川又八郎

西村六之介 組頭 山田五郎九門

大横目 宮部清四郎 同役 森川藤七郎

一元禄十二卯九月十七日 此年ヨリ町方練物初世詔焼大野十兵衛

被 仰付候故當日御貸人貳人渡リ宝永二酉迄七ヶ年相勤申候

去年迄御鉄砲二拾御弓二拾御鎗五十御座候へ氏當年ヨリ

御鉄砲御弓三拾宛御鎗二拾年減三十本可仕候由被仰渡

児島林之山伏頭五流之内建徳院 備前國之頭 本山方山伏召連供奉

波印付候御馬御貸人渡ル其後御合力采七拾代被下建徳院毒死去服

御合力采不被下以前ヨリ毎年銀三枚宛被下新銀渡リ成半減

一枚半宛被下来候御馬ハ御厩ヨリ出御中間二人水筒持入

御貸人若黨十人斧持二人薙刀持一人扱箱持二人小者三人合十八人

中日用之直段ノ享保七寅ノ四月ノ分二百九匁五分六厘日用相場年々

不同有之惣山伏供奉相勤候者凡十五人計一人付前之賄料銀

三匁宛被下候処近年御断申上由宛被下最將束元笠袋共

公儀ヨリ渡ル建徳院押足輕五人ハ山伏之押而無之様被存候番頭

衆一組之押ハ三人候ハ山伏之押五人而無之様被存候是ハ中

供奉之押ト存候則右之御足輕之次御徒目附兩人罷出申儀

候 右五人ハ前ヨリ釘貫御敷 右五人ハ押山伏ニ付候押テハ無之 中供奉之押候段頭襟頭圓滿院

享保十四御祭礼前 廣澤  
喜之介 物語仕候

去年迄御先拂 出申町横目一人御足輕拾人先口立練物先拂騎馬而  
藝仕候内下馬仕居申候練物跡押御足輕五人出申候

還御之刻此歳より西御門ヨリ内山下へ 渡御内下馬御橋之前  
供奉花練物從 御櫓 御上覽 供奉之面之馬上 櫻之馬場先年ハ

御休東御門口出御練物御橋前而藝仕候付行儀御足輕十人召連  
御郡目附兩人出ル内一人ハ極奉行 其年ハ御城代番之小仕置衆一人  
出未申候

武具方奉行中不殘召連 御對面所御門並居其外大横目壹人所  
御奉行寺社奉行王此所出居申候練物行列 御足輕十人町横目人

小須一人騎馬供人御足輕三人 武者廿人順礼踊貳拾人石引右品之間町五人宛絹衣袴麻上

而供奉押足輕五人近年之行列奥記之御城代番之小仕置衆一人

御鉄砲也 池田木工 御弓也 丹羽七郎左門

御鎗三十 志水治右衛門

須加小郎 同 中村四兵衛

池田伏兵衛 塩川段兵衛 香川五郎兵衛 竹村小右門

渡部源四郎 毎岡平七郎 小川弥七郎 辻勘介

武藤平右門 組頭 浦上十右門

大横目 八木惣兵衛 同後 斎藤三郎介

此年於江戸御徒松田加七郎ヲ植野護王院へ被遣日光

御祭禮之通太鼓鉦之抄樣執古仕候様被仰付道心者知玄申  
者習候御國罷歸中嶋町孫八郎忠右門八大夫三人之者傳  
東照宮御祭禮抄申候

一元祿十三辰九月十七日

此年四月御祭禮之答御座候処 真證院様御逝去  
九月江御延被成候ハ又八月 信濃守様御死去被成未御服  
中存當年御祭禮之儀等覺院ヲ以東叡山役者中口御尋  
御座候処御忌服中ニテモ御祭ハ御執行可被成併御自身  
御出被成候儀御紋之御道具御無用之由申来候ニ付

其通被仰付候至于今右之通候

御鉄砲

村瀬團右門

御弓

日置十九門

御鎗

福田弥九門

鉄砲引廻  
荒尾長兵衛

同  
尾關平九郎

番頭  
池田七郎兵衛

深谷甚左門

村山又左門

岡田甚五兵衛

榎並久大夫

河合源左門

武藤平左門

廣内儀左門

安井八左門

組頭  
今井勘左門

大横目  
森川藤七郎

同候  
庄野武左門

一元祿十四巳九月十七日

此年ハ舞臺車ヲ仕掛上ニ而小原町説經トモ狂言仕用意候  
ハ此雨天御居祭故不出其後ハ噂モ無御座候



御鉄砲

森本与三衛

御弓

森寺九九門

御鎗

國府四兵衛

鉄砲引廻

梶川佐次兵衛

同 柴田代右衛門

番頭

伊庭平内

梶浦平四郎

梶田清左門

河原喜兵衛

加納小左門

森藤八郎

生駒弥右衛門

村井六右衛門

加藤平兵衛

組頭 平井六右衛門

大横目

藤岡勘右衛門

同 坂 門田市郎右衛門

一元禄十五年四月十七日

練物行列如前

此年大坂三太郎卜申十二歳之小坊至於御旅所鎗踊十仕候

翌年ヨリハ出不申候

御鉄砲

若賀弥平次

御弓

杉尾助八郎

御鎗

中築田三次郎

鉄砲引廻 洲本弥太之丞

同 深谷甚右衛門

番頭 中村圭馬

岡田勘兵衛

山脇茂兵衛

丹羽小平太

佐分利弥右衛門

吉井藤内

岡田甚大夫

野坂八助

村田強右衛門

組頭 石田強右衛門

大横目 宮部清四郎

同 市浦清七郎

一元禄十六未ノ九月十七日

子物行列如前

御鉄砲

小崎彦大夫

御弓

荒尾猪兵衛

御鎗

荒尾長兵衛

鉄砲引廻  
瀧川弥左衛門

林武大夫

番頭  
池田三郎左衛門

牧野亦之丞

垣見半兵衛

河村平太兵衛

馬場八介

吉田新左衛門

菅田美左衛門

荻田久兵衛

田路權之丞

組頭  
依之長兵衛

大横目  
森川藤七郎

同  
藤岡勘右衛門

一元禄十七申四月十七日

練物行列如前

還御之御道弓矢兩

御鉄砲

伴安左衛門

御弓

渡邊助之丞

御鎗

田中源兵衛

鉄砲引廻  
湯浅源左衛門

同  
石黒藤兵衛

番頭  
丹阿平大夫

古田是之丞

中山長大夫

高崎忠兵衛

大横目  
古田源介

組頭  
林武大夫

南条八郎

同  
同田市郎兵衛

一寶永二酉九月十七日

子リ物行列如前

御鉄砲

田中真吉

御弓

竹村小平太

御鎗

國府四兵衛

鉄砲引廻  
滝川弥左衛門

同  
安田市左衛門

番頭  
宮城大藏

南部半左衛門

橋本藤九郎

梶田彦兵衛

津川昌左衛門

後藤作之介

三好忠兵衛

竹内次郎三郎

栗原半介

組頭  
大橋茂右衛門

武田左平太代り

大横目 宮部清郎 同 森半左門

一宝永三戌年四月十七日

子リ物行列如前

御鉄砲 尾蘭弥五郎門

御弓 虫明又八郎

御鎗 田中源兵衛

鉄砲引廻 奥山覚之丞 同 稻川久之丞

著頭 丹羽七郎左門 竹腰次郎兵衛

高橋長大夫 小泉清左門

小崎久左門 江見仁八郎

石川平次郎 平次郎免於御旅所旁 代リ 伊東半左門

松尾助九郎 内藤八兵衛

組頭 丸毛儀兵衛

大横目 南条八郎 同 岩田十大夫

一宝永四亥九月十七日

此年ヨリ御食儀ニテ只今迄練物

神輿之御先は渡り所ニテ藝仕候内 神輿久敷御待供奉

之者凡難儀仕候段被 聞召 渡御之刻ハ練物御先は出取

テ之藝不仕直御旅は参込於 神輿前初而藝仕直ニ伊勢宮

御門ニ相待彼所ヨリ 神輿之御跡は渡り可申由被 仰

渡候土手竹助込后可申候間歩立之者ハ伊勢宮前下リ一番町

通リ御堀端へ出申様ト有之付伊勢宮御門外之辻固番守田

午五郎脇白退申候

御鉄砲 日置十左門 御弓 池田木五

御鎗 林武大夫

鉄砲引廻 仙石久右門 同 喜多嶋忠左門

番頭 水野作左門

安藤權左門

杉山權兵衛

水野清次郎

古田十三郎

成瀬勘五郎

高野勘介

富田甚六郎  
久兵衛代

香取六之丞

組頭 上泉治部左門

大横目 安藤孫九郎

同 薄田兵右門

一宝永五子四月十七日

此年ヨリ代神樂止代リ聖引七人角前髪

三引大坂踊仕候武者小段長順礼踊三品氏五人死滅り申候相州

川後付御家中御物成ニツ被下故卜存候

御鉄砲

山崎源左門

御弓

齋藤三郎介

御鎗

湯浅亦右門

鉄砲引廻 付田弥右衛門

同 佐分利弥右門

服部圖書

岡助右門

杉山善左門

木全弥五郎

田上佐若工門

吉田甚老工門

矢部半兵衛

惠藤源藏

大横目 村瀬久大夫

組頭 松浦寛之丞

大横目 森半右工門

同 南条八郎

一宝永六丑九月十七日

練物如前

御鉄砲

森川助左門

御弓

佐々長兵衛

御鎗

荒尾長兵衛

鉄砲引廻 小川門大夫

同 大野十兵衛

同 川口喜兵衛

番頭 土肥右近

上坂外記被仰付候(氏)俄忌中ニ付右近相勤御鉄砲三拾組外記組出ル

渡部治兵衛

竹村弥二兵衛  
小平太代

山下文左工門

馬場八介

松田七兵衛

淵本久左門

加納寛右門

組頭 深谷甚右門

大横目 南条八郎

同 宮部清四郎

一室永七寅四月十七日

子リ物行列如前

御鉄砲

大橋茂右門

御弓

松本庄大夫

御鎗

滝川弥右門

鉄砲引廻 瀬崎六兵衛

同 安田市左門

番頭 池田左介

塩川段兵衛

河田左右門

柏尾猪兵衛

竹村小左門

塩川吉大夫

伴半兵衛

古田新右衛

同 野本三丞

組頭 香西五郎左門

大横目 今井大左門

同 津川亦六郎

此年 渡御之御道ヨリ小所ニ

一正徳元卯九月十七日

此年ヨリ 順礼踊止カハリニ布袋車ヲ唐人

引唐子踊小人孫次郎

大黒町ニ者淨瑠璃小哥ヲ詛翌年ヨリ不出

子リ物行列

箕ホコ

孫次郎

大母衣

一 小母衣

武者

布袋車

雪引

石引

歩行立之者氏近年一番町通り御堀端、罷出候へ氏一番町家ニ  
ハイリ踊酒ナト被下不作法存此年ヨリ直ニ土手通りヲ参一番町  
入口迄ナト居可申由ニ付守田五郎脇之辻固番ヲ河原助四郎前、  
寄是ヨリ西へ出ニ不申候

御鉄砲

丸毛儀多衛

御弓

浦上十右門

御鎗

田中原兵衛

鉄砲引廻

野村小十郎

同 佐分利弥右門

番頭

神小左門

別所忠兵衛

立野友之助

江見平兵衛

中村十九門

澤原勘兵衛

神戈兵衛

野村平左門

野尻源兵衛

同 山脇九之丞

同 岩井源四郎代

大横目 薄田兵右門

同 寺澤藤左門

一 正徳二辰四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

上嶋彦次郎

御弓

今田茂大夫

御鎗

湯浅赤右門

番頭 上坂外記

同 田原八郎

松田七兵衛

山下文左門

渡部十郎右門

組頭 木戸彦次郎

下方定右門

岡七三郎

大横目 森田丈介

同 孫六郎代 深谷甚右門

同 富田弥左門

同 山脇九之丞

一 正徳三己九月十七日子り物行列如前

御鉄砲

小崎彦大夫

御弓

茨木母大夫

鉄砲引廻 御鎗

同 田中源兵衛

同 村瀬久大夫

同 西浦惣左門

同 淵本金右門

番頭 若原監物

市浦太兵衛

橋本藤九郎

梶田利兵衛

後藤作之介

飯田傳右門

大野小兵衛

三好夫左門

源兵衛名代

夫兵衛名代

組頭 武田九平太

大横目 森半右五郎 同後 村山亦五郎

一 正徳四年四月十七日 此年子リ物乗掛馬一疋ツラフトン段々敷子

供ノ馬子二人口ヲ取大人之馬子二人添付仕道々馬子フシノ小哥ヲ

諷申候翌年ヨリ出不申候御先代之御終ニテ不吉ト存候當年

ヨリ大手ノ御門ヨリ御通り被遊可然ト 御意ニテ南御門江出御

被成土橋ニ而 御休御座候所々ノ辻固所ハ年々不同有之ニ付

次之卷ニ記之

御鉄砲 伴安五郎 御弓 宮部清四郎

御倉 梶田清左五郎 古田權大夫

番頭 土肥右近 河合七左衛門 山中市左五郎 加藤平之丞

青木運八郎 和田典右五郎 神戸亦三郎 薄田長兵衛 代リ亦三郎 渡御ヨリ供奉

組頭 安藤權九郎 滝川久三郎

大横目 湯浅亦右五郎 同後 森本五三郎

一 正徳五年九月十七日 子リ物行列如前 當御代替未御服中ニ御坐候故 無紋

御鉄砲 下方覺兵衛 御弓 上泉治部五郎

御鎗 梶原清右五郎

鉄砲引廻 本林寺五郎衛 同 渡野兵左五郎

番頭 澤一學 吉井新三丞 藤内名代 岡田源太夫 那須久五郎

宮脇一之進

大口茂大夫

渡部多丸五郎

寺本治左門

佐々小次郎

組頭 瀧川久三郎 代り 梶川弥三右門

大横目 梶尾長兵衛

同役 井上庄介

一享保元申四月十七日

子り物行列如前 雨天付御居祭

前々番頭物頭迄 御宮、罷出、拜仕、御幣、項戴仕候此年

ヨリ組頭大組迄供奉之面、御宮に罷出右之通、御座候

其比當御代末

御入國無之内候

御弓

丹羽次大夫

御鎗

八木惣兵衛

御鎗 津田源右門

同 片岡次郎大夫

番頭 梶内半平

大橋友之丞

神屋久次郎

武藤文之丞 文内名代

那須七右門

芥川典右門

森島文之丞

村田加平次

組頭 齋藤加左門

大横目 大原源九門

同役 志水忠右門

一享保二酉四月十七日

雨天付

御居祭

子り物行列如前

御銃砲

香西五郎左門

御弓

森川助左門

御鎗

山田弥太郎

銃砲引廻 野村十郎

同 佐利弥左門

番頭 中村主馬

佐利久次郎

別所忠兵衛

糟谷源九門

須賀庄介

伊藤夫左門

中村九門

澤原勘兵衛

古澤清之丞

組頭 梶川孫次郎 代り 岩月源四郎



大横目伍 八右衛門

同伍 近藤七郎左門

一 享保三戌四月十七日 子り物行列如前

御鉄砲

荒尾長兵衛

御弓

稻川佐七郎

御鎗

瀧川仁右門

鉄砲引廻 牧野亦兵衛

同 村井傳右門

番頭 池田木工

梶浦藤之丞

稻川六三郎

栗原彦左門

長屋忠兵衛

出石平介

中牟田三次郎

能勢助五郎

田坂与七郎

組頭 土方衛兵衛

大横目 大原源九郎

同伍 廣澤喜三介

一 享保四亥九月十七日

子り物行列如前

當御代御入國初而之御祭礼朝之内曇御見合辰之下刻

渡御付子り物仕舞之内山下而暮申候

一之宮ニテ乘申候在方ヨリ四能出候競馬乗ノ百姓六人御旅之馬場

ニテ 御上覽則一之宮之通木綿苗之裝束 御馬ニ御厩ヨリ出申候

惣分之又六 下阿知曾平 柿木之弥作 柏原之善八

周匝之又多衛 佐伯之三大夫 田意人 菅野之三右門

御采三俵ツ被下

御先代元禄十丑九月一宮御祭礼後於 御後園 御上覽

御鉄砲 安東平九郎 御弓 九毛儀兵衛

御鎗 深谷甚右門

鉄砲引廻  
龜嶋九介

河村美衛

番頭  
池田吉左門

高木近右門

玉野治次

先山權三郎  
百右衛門

河野弥平太

輕部團次郎

岸孫三郎

小田名右門

堤清之介  
八右衛門

組頭  
立野番大夫

大横目  
今井文左門

同役  
津田小源太

一 享保五子四月十七日 子リ物行列如前 亮徳院様御服中故無紋

御鉄砲

浦上才左門

御弓

田中真吉

御鎗

中野九郎左門

鉄砲引廻  
舟戸新左門

同  
小泉典左門

山脇源大夫

田上佐若門

村田弥兵衛

伴五郎左門

岡田勘六郎

市浦善藏

木全兵左門

高田甚之丞

小林喜喜郎

組頭  
森寺九九門

大横目  
近藤作左門

同役  
岡助右門

一 享保六丑九月十七日

此年所方ヨリ願之品有之大母衣雲引不出

唐子ノ袴木綿ノサヲ寸深ニ成 朝鮮踊ニ替ル

御鉄砲

梶田清左門

御弓

薄田兵左門

御鎗

齋藤加右門

鉄砲引廻  
仙石久右門

同  
塩川段兵衛

番頭  
池田七郎兵衛

竹越又八郎

中村忠九門

高橋長大夫

九山文之丞

水野弥兵衛

小崎久左門

石川幸三郎  
平吉急代

江見仁兵衛

組頭

岩井源四郎

中村治九郎代り

大横目  
大原源九郎

同  
近藤七郎右門

一享保七魚四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

茨木九大夫

御弓

山田弥太郎

御鎗

加藤少郎

鉄砲引廻  
大橋友之丞

同  
渡辺助左門

番頭  
池田三郎左門

香西源太

波野夫兵衛

牧野平四郎

渡部五兵衛

垣見幸之介

甚九郎代り  
村瀬權兵衛

庄野市郎衛

太田武九郎

組頭  
安倍忠九郎

湯浅亦右門

笹岡次郎七郎

一享保命九月十七日

子り物行列如前

還御之刻伊勢宮土手筋所々子り物藝仕候故

神輿御差支被成ニ付當年ヨリ土手筋伊勢宮口御門迄之内ニ藝

不仕答之由

御鉄砲

伴安九郎

御弓

服部五右門

御鎗

安藤五九郎

鉄砲引廻  
舟戸新五郎

小泉清右門

番頭  
池田權内

山脇九之丞

田上佐右門

市浦善藏

組頭  
今西利兵衛

林七兵衛

水野甚兵衛

木全兵九郎

森寺九郎

大横目  
近藤七郎右衛門  
同役  
滝川弥左衛門

一 享保九辰四月十七日 子リ物行列如前

雨天 自午ノ上刻迄御見合 御居祭天和 三御居祭之御規

式ニ而 御社恭御坐候 兼之己ノ上刻切候 凡當年ハ

采光院様久敷振ニ而 御帰國故午ノ上刻迄御見合之由

御鉄砲 丹羽治大夫 御弓 上泉治部左衛門

御鎗 深谷甚右衛門

林安兵衛 同 久保田紋右衛門

番頭 稻葉四郎左衛門 水野清之介 村井七之介 古田千之介  
治兵衛各代 十三郎各代

成瀬勘五郎 柴山惣兵衛 侯野市九郎 松山市右衛門

高野勘介 荒尾紋右衛門

大横目 今井文左衛門 同役 中村善右衛門

一 御祭禮行列前々ヨリ 少死之違有之候 凡近年大形極候 享保九辰之行列馬丸ニ記之

行列之次第

杖突 足輕拾人 町横目 此間上下著町人五人死  
小頭二人

余 鉾 昇手八人 太鼓打二人 上下著

武者拾五人  
手代り一人

床机持拾五人  
手代り一人  
上下著

小母衣拾五人  
手代り一人

長刀持拾五人  
手代り一人  
床机持拾五人  
手代り一人

上下著

下宦笛吹三人

獅子裁判人二人  
唐子獅子衆一人  
唐子獅子衆一人  
唐子持道具裁判人二人

唐子拾六人

衣装著二人  
三味線持手一人

地哥二人  
床机持一人

三味線弾三人

引手下宦五人  
引手同

布袋車

二人替人氏

扣綱下宦一人  
扣綱下宦一人

車引手傳四人  
唐子持道具入篋持二人

上下著  
石引手二十人  
石引手二十人

キヤリ師二人

地哥六人  
三味線弾二人  
同持手二人  
床机持一人

キヤリ役者

石  
笛二人  
小鼓二人  
大鼓二人  
手替二人  
手子ノ者十人  
内中人扣綱

押足輕五人

御徒横目一人  
御徒横目一人

從是神輿之供奉

足輕十人

小頭一人

御先横目一人

御鐵砲三十挺

小頭三人相夫三人

御鉄砲頭

御弓三十張

小頭相夫右同

御足輕三十人

御弓頭

御鎗三十本

小頭三人相夫三人

御長柄之者三十三人

御鎗奉行

樂人五人

笛二人  
篳篥一人

樂人五人

篳篥二人  
篳篥一人

笙一人  
太鼓一人  
鉦鼓一人

神職十八人  
神職十八人

高京主計

同 越後守

大守肥後守

見垣近江守

御神八人

御徒  
御徒

御鉞  
御鉞

八人  
八人

獅子六人

御馬

御徒二人  
御徒一人  
御徒一人

太鼓

折手二人  
持手四人  
唐臺持二人

鐘  
手一人

御弓二人  
御弓一人

御鎧六人

御徒一人  
御徒一人

御劔一人

御太刀中嶋源左門  
御太刀高畠德三郎  
圓刀持下二人宛

御幣  
神職三人

利光院弟子一人  
利光院弟子一人

杖突  
杖突  
足輕  
足輕  
十人  
十人

小頭一人  
小頭一人

神輿

御居量持拾人  
駕輿下六十四人

御徒十五人計

内二人地車裁判人

斧裝束  
斧裝束

山伏手替  
山伏手替

笈山伏

床机持

關伽桶

裝束山伏

螺吹 裝束 山伏 同 同 同  
螺吹 裝束 山伏 同 同 同  
組頭 同 同 同  
組頭 同 同 同  
圓滿院 若黨 挾箱  
若黨 挾箱 長刀

立傘 手替人 步行 六人 建德院 馬上 若黨 四人

馬柄杓持 白丁 朱傘 床机持 押足輕五人  
白丁 當持 草履取 御徒横目一人  
御徒横目一人 御徒横目一人

鉄砲拾挺 小頭二人 兩袋持一人 鉄砲引廻一人 騎馬

鉄砲拾挺 右同断 小頭一人 兩袋持一人

番頭一人 組士八人 組頭一人 御徒横目一人 御徒横目一人

杖突 足輕 十人 小頭一人 御跡横目一人

享保九辰四月 人數都合千三百拾五人



外 御神馬一疋

士中騎馬拾九疋  
建徳院騎馬一疋

一享保十己九月十七日 子り物行列如前

當年八前日 御社参被遊直三町通り 御旅上 御出御掃除

御見分被遊 御船三テ 御後園江 御入被成三付翌朝

神輿例ヨリ早ク御下リ 還御之刻内下馬ヨリ内三テ子り物藝不仕

御橋之前三テ初而藝仕候故仕舞モ早ク御坐候

御鉄砲 森川助左門 御弓 下方覚書衛

御鎗 加藤小十郎

鉄砲引廻 河村平太兵衛 同 塩川吉大夫

番頭 伊木頼母 高木左近衛門 船橋源三介 吉兵衛名代 河野弥平太

國府共左門 輕部權之介 組頭 四次郎名代 竹村小十郎 吉兵衛名代 安藤孫四郎

岸孫三郎 組頭 玉野治大夫

大横目 舟戸久左門 同役 石丸平七郎

一享保十己四月十七日 子り物行列如前

雨天三付己ノ刻迄御見合 御居祭當年モ前日

御宮御参詣直御旅所 御見分被遊 御歸城 御船三テ

御祭之御規式ニモ御参詣

御鉄砲 荒尾長兵衛 御弓 稻川佐七郎

御鎗

鈴木三郎兵衛

鉄砲引廻

竹村喜左門

同 芳賀次郎兵衛

番頭

丹羽藏人

森川藤七郎

吉地藤四郎

宮部源大夫

吉田甚大夫

甚五左門名代

春田儀左門

十六夫名代

光枝甚左門

小川弥七郎

井上仁左門

三平名代

組頭

梶浦藤三丞

志水忠右門

河瀬右平太

一 享保十二未九月十七日

子リ物行列如前

當年壬子前日

御宮

御参詣直御旅所御見分被遊御船而

御後園、御入被遊候

去是建徳院病死仕候ニ世傳継家督候刻七拾俵ニ御合方采上リ

御祭禮供奉之儀其時當リ何レ成ト可被仰付儀ニ可有御坐裁ト被

仰聞候付此度御祭禮前寺社奉行奉願候処此已後五流之内

一人宛替ニ供奉可被仰付候相勤候者御合方采ニ三拾俵銀三枚宛

可被仰渡候當年者外之五流差合申候而當建徳院罷出相勤

申候

御鉄砲

安東平左門

御弓

岩井源四郎

御鎗

竹腰伴内

鉄砲引廻

糟谷源左門

同 古田番右門

同 津川加左門

番頭 若原監物

西浦清之丞

淵本甚五右門

橋本藤九郎

梶田彦八郎

野間勝八郎

佃 喜兵衛

組頭 古田權大夫

大横目  
八江八郎大夫

同  
今田茂大夫

一享保十三申四月十七日

子リ物行列如前

當年ハ布袋車ヨリ下リ唐團ヲ持柱杖ヲ突

神輿前ヨリ後 御殿前迄又ハ内下馬御橋前其外所々テ步行仕候

如例年前日 御宮 御參詣直ニ御旅所御見分被遊御船テ御

後園 御入被遊候 當日ハ 内匠頭様丹波守様御同船テ御旅

御出 御歸之時分ハ 御兩所様河原通陸 御歸

御鉄砲 池田勘兵衛 御弓 荒尾内藏

御鎗 大村武左門

鉄砲引廻 浅野瀨兵衛 同 宮脇市之進

番頭 服部圖書

馬場八分

岡田清大夫

生駒治左門

那須半兵衛

能勢助五郎

中嶋新三郎

渡邊幸之介

大横目 村田善大夫

組頭 梶川強右衛門

大横目 石黒後藤衛

同 岡田丑兵衛

山伏頭林五流

大法院

神輿カキ道中不作法候故當年ヨリ 右之裁判 御徒二人  
被 仰付

享保十三申 御祭礼惣人数覚

御行列八百六拾人之内

一拾八人

侍

一六人

御步行目附

一二十二人

御步行

一二人

御太刀持

二百四十人

御足輕

一三十三人

御長柄者  
手代リトモ

二十六人

小頭相夫氏

一五十二人

神職樂人  
御幣持トモ

三十九人

御鉾獅子御馬  
御鎧御弓御劔

一二十七人

御神大鼓鐘  
神輿居臺持トモ

六十四人

駕輿丁

一二人

利光院弟子

十六人

大法院其外  
山伏トモ

一三百十一人

侍十八人召連候  
若黨下人

六人

御徒目附下人

一四人

御太刀持下人

五十八人

神職下人

一三十四人

大法院若黨下人  
其外山伏共下人

町方跣物役人四百三十七人之内

二人

惣年寄

一二十五人

町人上下着

二百三十一人

跣物役人

一六十五人

肝煎之者町代其外用事

百拾四人

跣物役人其外罷出候  
町人共下人

惣人數高合千二百九拾七人

御神馬一足

侍中騎馬拾九足

外大法院騎馬一足

四百八十人

所々辻固花御門々御番所出候人數

右者宝永四年九月御祭禮刻惣人數御尋付大横目衆書出

申付諸手承其比ハ毎年尋候ニ其後御沙汰モ無御坐候故

近年ハ人數承知不仕候自然御入用候ハ此人數書上可申

心得居申候

二百四拾人所々立番諸入用

都合二千拾七人

享保十四己酉九月十七日

子リ物行列如前

此年九月十四日之夜高水而 御旅所悉破損仕候有御祭禮之内

繕立可申段十九日之朝被 仰渡則十六日之昼迄 御掃除仕立同

日申之上刻 御見分 御旅所 御出被遊十七日 御祭礼無滞

相濟申候但子リ物常 居申所 高水未引不申候 有土手北方

供奉衆騎馬立所 北、緑込置申候

御鉄砲 西村小五郎衛 御弓 深谷甚左門

御鎗 丹羽平次右門

鉄砲引廻 武藤平右門 同 垣見七郎左門

番頭 池田木工 牧野平四郎 渡邊小忠太 長谷川六郎

服部治多衛 今中十右衛 源分名代 行田六郎右門 垣見孝之介

庄野市郎兵衛 組頭 安倍忠左門 山伏頭林五流 傳法院

大横目 丹戸久左門 同役 中野仁大夫

一享保十九庚戌四月十七日

此年 水戸宰相様御卒去被遊候由申奉御穩便成候故十

七日 御居祭被 仰出當日朝於 御山御神事 毎之通御

執行有之 殿様 御参詣被遊候供奉之面

御居祭先規之通 罷出申候

御鉄砲 田中真吉 御弓 堀弥次衛

御鎗 竹村喜左門

鉄砲引廻 佐之長兵衛 同 須加小八郎 同 長屋新左門

番頭 土肥典膳

薄田右源次

御司茂左門

井上藤介

組頭 萩田源内

鶴見七右門

青木運八郎

和田与右門

大横目 松田七右衛

佐重即左門

河瀬右平太

山伏頭 吉祥院

一 享保十六年 亥九月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

日置孫左門

御了

大村武左門

御鎗

河合清大夫

鉄砲引廻 河合七左門

同 辻 勘介

番頭 草加高右門

森川助左門

江見平右衛

中川權之進 權左大夫代

富田甚内

山川節右衛

松村牛之介

塚平平之丞

大横目 鈴木定右門

組頭 栗原彦右門

山脇九之丞

同 岩田嘉内

山伏頭 山流

一 享保十七年 子四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

水野治大夫

御了

川村平左衛

御鎗

竹村喜左門

鉄砲引廻 飯田傳右門

同 行田藤右衛

番頭 宮城舎人

安藤善大夫

加藤小十郎

田口与介

宇津木半九郎

組頭 榊江幸左門

熊谷加左門

中山長大支

高崎佐左門

組頭 市川右右衛

大横目 八田庄右衛

同 小泉清右門

山伏頭 林五流

大法院

一享保十八癸丑九月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

小川弥七郎

一御弓

古田權太夫

御鎗

千馬四郎九郎

鉄砲引廻主肥典膳組  
梶浦丈左門

同  
御司七右門

番頭  
津田丹下

片山勘介

山内与八郎

玉井加左門

新江万之丞  
小右衛門名代

原彦八郎

村上小四郎

吉見段治

同  
岡多兵衛

尾関源次郎

大御目消  
石黒後藤多衛

同  
水野助太夫

一享保十九甲寅四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

市川左兵衛

御弓

高菜九郎右門

御鎗

竹腰伴内

鉄砲引廻  
岡田清太夫

同  
宇津本半太夫

番頭  
岸一學子

糟谷源左門

佐治与八郎

組頭  
鈴木覚三丞

大樽目  
野間勝八郎

同  
西村久五兵衛

淵本甚左門

組頭  
長尾新左門

磯部九郎右門

同  
市浦善藏

山伏  
建徳院

一享保廿乙卯四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

丹羽源右門

御弓

山脇九之丞

御鎗

舟戶新五郎門

吉崎甚兵衛 不出有草加五郎右門

鉄砲引廻 高橋甚大夫 同 荒尾長兵衛

番頭 上坂多伸 八木惣兵衛

中野九郎右門 柴田次郎右門

生駒大介 岩田十介

高木甚右門 稻川市右門

太田權兵衛 組頭 村瀬平右門

同 小森九郎右門 山伏頭林五流

一 享保二十一丙辰九月十七日

子リ物行列如前

御鉄砲 山脇九之丞

御弓 安東平九郎

御鎗 佐分利甚五郎

鉄砲引廻 熊澤七郎 同 波多野夫九郎

番頭 伊庭求馬 小島儀九郎

湯浅新之衛 舟橋強惣五郎 吉兵衛名代

河野弥平太 亀嶋猪兵衛

岸孫三郎 小林平次郎

河原幸次郎 組頭 浅野瀨兵衛

大横目 生駒弥五郎門 同 河原藤兵衛

一元文二丁巳歲九月十七日

子リ物行列如前

御鉄砲 荒尾内藏助

御弓 石黒後藤兵衛

御鎗 舟戶新五郎門

鉄砲引廻 佐分利久次郎 同 吉崎甚兵衛

番頭 池田造酒 中村喜内

河合權次郎 吉大夫名代 仙石清九郎 父兵衛名代

安田与七郎 小原弥九郎門 惣介名代

正田孫九郎門 大橋茂九郎門



江見兵藏

組頭 水野治兵衛

大横目 八田莊兵衛

同後 神屋久次郎

一元文三戊午四月十七日

子り物行列如前

御鉄砲

松本庄大夫

御弓

船戸新五郎

番頭 御鎗

村瀬平右門

伊木頼母

鉄砲引廻 材七兵衛

富田弥九郎

茨木權太郎

笠井平右門

近藤七介

井上藤八郎 三年各代

吉田新次郎

寺崎源十郎

岸本新介 大右三門各代

石尾善九郎

組頭 高木九右門

大横目 立野番大夫

同後 市浦善藏

山伏 大室院

一元文四己未九月十七日

此年ヨリ 庭訓賣物初ル前

御鉄砲

森川助九郎

御弓

凡毛治右門

番頭 御鎗

齋藤清次郎

番頭 水野生計

鉄砲引廻 山内与八郎

同 片山勘介

在野三郎次

森川吟右門

安田彦七郎

小川孫七郎

心田与介

市原加右門

谷川次郎右門

徳山兵藏

組頭 水野治兵衛

大横目 村上藤九郎

同後 原田權左門

山伏

一元文五庚申四月十七日

御鉄砲

宮部源大夫

御弓

河田重右門

番頭 御鎗

依分利甚五郎

番頭 丹羽藏人

鉄砲引廻 菅田伊大夫

馬場宇右門

加世万右門

梶川弥三右門

松山平兵衛

栢尾六之丞

牧野弥三右門

玉升加九工門

田中半之介  
安九工門名代

河原幸次郎  
九介名代

組頭 米原彦右門

後 蟬江幸右門

生駒弥三右門

山伏建徳院

一寛保元辛酉九月十七日

御鉄砲

瀧川仁左門

御弓

村瀬平右門

御鎗

安藤善次夫

西村吉兵衛

生駒權内

番頭 宮城舎人

熊澤七郎  
鉄砲引廻

同 國府四兵衛

喜九工門名代

土方衛兵衛

河野強一郎

亀嶋猪兵衛

組頭 木惣兵衛

岸三郎右門

淵本甚右門

蒔田平之丞

山伏傳法院

後 竹越伴内

大横目 武藤幸右門

山伏傳法院

一寛保二壬戌歲四月十七日

一寛保三癸亥歲九月十七日

一延享元甲子歲四月十七日

御鉄砲

山脇九之丞

御弓

安東平左門

御鎗

齋藤清次郎

番頭 瀧川縫殿

鉄砲引廻 笹岡忠八郎

寺澤藤左門

川口多九郎

小崎彦大夫

飯田源五郎

那須惣七郎

羽原万竹

三木勘五郎

渡辺長五郎

山本儀右門

組頭 雀部次郎多衛

大横目 神屋久次郎

同 村上藤九郎

山伏尊隆院

元文四年九月十七日ヨリ庭訓賣物初

浦之岡丸 西大寺町 大舎人綾 橋本町

大津練貫 下之町 六條染物 山崎町

猪熊紺 塩見町 宇治布 栄町

大宮絹 久山町 烏丸烏帽子 上内田町

室町伯樂 平野町 豊島筵 廣瀬町

嵯峨土器 下内田町 素良刀 古京町

高野刺刀 柿屋町 大原薪 二日市町

小野炭 高橋町 小柴炭 瀧本町

城戸扇 大黒町 仁和寺扇作 難波町

姉小路針 常盤町 鞍馬木芽漬 高砂町

醍醐烏頭布 濱田町 東山燕 上出石町

西山心太 中出石町 加賀絹 下出石町

丹後精好 名園町 美濃上品 片瀬町

尾張八丈 東中島町 信濃布 油町

常陸紬 土器町 上野綿 森下町

上総鞆 櫻町 武藏鎧 西中島町

佐渡沓 野殿町 伊勢切付 磨屋町

伊豫簾 瀬尾町 讚岐圓座 小野田町

司檀紙

備前刀

甲斐駒

奥州金

越後塩引

周防鯖

淀鯉

安藝樽

河内鍋

和泉酢

宰府栗

松浦鱒

奥漆

下片上町

児島町

紙屋町

上ノ町

大ノ町

山ノ町

大雪寺町

桶屋町

萬町

富田町

紺屋町

藤野町

岩田町

播磨杉原

出雲鋏

長門牛

備中鉄

隠岐蛇

近江鮪

土佐杖木

能登釜

備後酒

后狭椎

宇賀昆布

夷鞋

筑紫穀

上片上町

末山町

中ノ町

下市町

野田屋町

尾上町

船着町

丸亀町

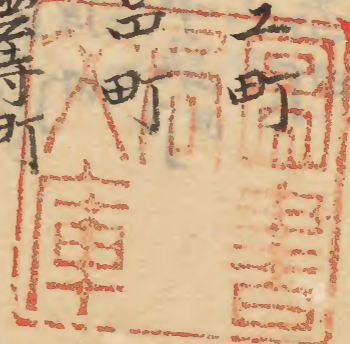
小橋町

小畑町

小原町

仁王町

川崎町



同徳院

下所高

播磨村

下所高

菅野

菅野

出雲

末山町

中尾

長門

長門

中尾

上町

上町

備中

下所町

越後

越後

越後

野原

山田

山田

近江

尾上町

大津

大津

大津

大津

奥

奥

奥

奥

本

本

本

本

末

末

末

末

